建築物の定期調査報告における調査及び定期点検における点検の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を定める件

発令: 平成20年3月10日号外国土交通省告示第282号

最終改正:令和5年3月20日号外国土交通省告示第207号

改正内容:令和5年3月20日号外国土交通省告示第207号[令和5年4月1日]

○建築物の定期調査報告における調査及び定期点検における点検の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を定める件

[平成二十年三月十日号外国土交通省告示第二百八十二号]

建築基準法施行規則(昭和二十五年建設省令第四十号)第五条第二項及び第三項の規定 に基づき、この告示を制定する。

建築物の定期調査報告における調査及び定期点検における点検の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を定める件

建築基準法施行規則(昭和二十五年建設省令第四十号。以下「施行規則」という。)第 五条第二項及び第三項並びに第五条の二第一項の規定に基づき、建築基準法(昭和二十五 年法律第二百一号。以下「法」という。)第十二条第一項に規定する調査及び同条第二項 に規定する点検(以下「定期調査等」という。)の項目、方法及び結果の判定基準並びに 調査結果表を次のように定める。

- 第一 定期調査等は、施行規則第五条第二項及び第五条の二第一項の規定に基づき、次の 各号に掲げる別表第一又は別表第二の(い)欄に掲げる項目(ただし、法第十二条第二項 に規定する点検においては損傷、腐食、その他の劣化状況に係るものに限る。)に応じ、 同表(ろ)欄に掲げる方法により実施し、その結果が同表(は)欄に掲げる基準に該当して いるかどうかを判定することとする。
  - 一 法第十二条第一項又は第二項に規定する建築物(建築基準法施行令(昭和二十五年 政令第三百三十八号。以下「令」という。)第十四条の二第二号に規定する建築物の うち階数が四以下又は延べ面積が千平方メートル以下の国家機関の建築物以外のもの (以下「小規模民間事務所等」という。)を除く。) 別表第一
  - 二 小規模民間事務所等 別表第二
- 第二 特定行政庁は、第一に規定する定期調査等の項目、方法及び結果の判定基準について、規則で、必要な項目、方法又は結果の判定基準を付加することができる。
- 第三 第一の規定にかかわらず、特定行政庁は、安全上、防火上又は衛生上支障がないと 認める場合においては、法第十二条第一項の規定により特定行政庁が指定する特定建築

物(同項に規定する国等の建築物を除く。)又は同条第二項に規定する特定建築物(法第六条第一項第一号に掲げる建築物で安全上、防火上又は衛生上特に重要であるものとして法第十二条第一項の政令で定めるものを除く。以下「国等の特定建築物」という。)について、規則で、第一に規定する定期調査等の項目の一部を適用しないことができる。この場合において、国等の特定建築物について規則を定めようとするときは、あらかじめ、建築審査会の同意を得なければならない。

- 第四 調査結果表は、施行規則第五条第三項の規定に基づき、次の各号に掲げる建築物の 種類に応じ当該各号に定めるとおりとする。
  - 一 法第十二条第一項又は第二項に規定する建築物(小規模民間事務所等を除く。) 別 記第一号
  - 二 小規模民間事務所等 別記第二号 附 則
  - この告示は、平成二十年四月一日から施行する。

附 則〔平成二○年三月三一日国土交通省告示第四一四号〕

この告示は、平成二十年四月一日から施行する。

附 則〔平成二六年一一月七日国土交通省告示第一○七三号〕

この告示は、平成二十七年四月一日から施行する。

附 則〔平成二七年二月二三日国土交通省告示第二五八号〕

この告示は、平成二十七年六月一日から施行する。

附 則〔平成二八年四月二五日国土交通省告示第七○三号〕

この告示は、平成二十八年六月一日から施行する。

附 則〔平成三○年九月一二日国土交通省告示第一○九八号〕

この告示は、建築基準法の一部を改正する法律〔平成三〇年六月法律第六七号〕附則第 一条第二号に掲げる規定の施行の日(平成三十年九月二十五日)から施行する。

附 則〔令和元年六月二一日国土交通省告示第二〇〇号〕

この告示は、建築基準法の一部を改正する法律〔平成三〇年六月法律第六七号〕の施行の日(令和元年六月二十五日)から施行する。

附 則〔令和二年四月一日国土交通省告示第五〇八号〕

この告示は、建築基準法施行令の一部を改正する政令 [令和元年一二月政令第一八一号] の施行の日(令和二年四月一日)から施行する。

附 則〔令和三年二月二六日国土交通省告示第一二六号〕

この告示は、令和四年一月一日から施行する。

附 則〔令和四年一月一八日国土交通省告示第一一○号〕

この告示は、令和四年四月一日から施行する。ただし、別表の五の項の改正規定は、令和五年一月一日から施行する。

附 則〔令和五年三月二〇日国土交通省告示第二〇七号〕

(施行期日)

1 この告示は、建築基準法施行令の一部を改正する政令〔令和五年二月政令第三四号〕 の施行の日(令和五年四月一日)から施行する。

## (経過措置)

2 この告示の施行の際現にある第四条及び第五条の規定による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

## 別表第一

|   |             | (い)調査項目   |         | (ろ)調査方法    | (は)判定基準     |
|---|-------------|-----------|---------|------------|-------------|
| _ | ()          | 地盤沈下等に    |         | 目視により確認する。 | 建築物周辺に陥没があ  |
| 敷 |             |           | よる不陸、傾斜 |            | り、安全性を著しく損ね |
| 地 |             |           | 等の状況    |            | ていること。      |
| 及 | ( <u></u> ) | 敷地        | 敷地内の排水  | 目視により確認する。 | 排水管の詰まりによる  |
| び |             |           | の状況     |            | 汚水の溢れ等により衛  |
| 地 |             |           |         |            | 生上問題があること。  |
| 盤 | (三)         | 令第百二十八条に  | 敷地内の通路  | 目視により確認する。 | 敷地内の通路が確保さ  |
|   |             | 規定する通路(以  | の確保の状況  |            | れていないこと。    |
|   |             | 下「敷地内の通路」 |         |            |             |
|   |             | という。)     |         |            |             |
|   | (四)         |           | 有効幅員の確  | 設計図書等により確認 | 敷地内の通路の有効幅  |
|   |             |           | 保の状況    | し又は鋼製巻尺等によ | 員が不足していること。 |
|   |             |           |         | り測定する。     |             |
|   | (五)         |           | 敷地内の通路  | 目視により確認する。 | 敷地内の通路に支障物  |
|   |             |           | の支障物の状  |            | があること。      |
|   |             |           | 況       |            |             |
|   | (六)         | 塀         | 組積造の塀又  | 設計図書等により確認 | 令第六十一条又は令第  |
|   |             |           | は補強コンク  | し又は鋼製巻尺等によ | 六十二条の八の規定に  |
|   |             |           | リートブロッ  | り測定する。     | 適合しないこと。    |

|   |             |         | ク造の塀等の |            |             |
|---|-------------|---------|--------|------------|-------------|
|   |             |         | 耐震対策の状 |            |             |
|   |             |         | 況      |            |             |
|   | (七)         |         | 組積造の塀又 | 目視、下げ振り等によ | 著しいひび割れ、破損又 |
|   |             |         | は補強コンク | り確認する。     | は傾斜が生じているこ  |
|   |             |         | リートブロッ |            | ٤.          |
|   |             |         | ク造の塀等の |            |             |
|   |             |         | 劣化及び損傷 |            |             |
|   |             |         | の状況    |            |             |
|   | (八)         | 擁壁      | 擁壁の劣化及 | 必要に応じて双眼鏡等 | 著しい傾斜若しくはひ  |
|   |             |         | び損傷の状況 | を使用し目視により確 | び割れがあること又は  |
|   |             |         |        | 認する。       | 目地部より土砂が流出  |
|   |             |         |        |            | していること。     |
|   | (九)         |         | 擁壁の水抜き | 必要に応じて双眼鏡等 | 水抜きパイプに詰まり  |
|   |             |         | パイプの維持 | を使用し目視により確 | があること。      |
|   |             |         | 保全の状況  | 認するとともに、手の |             |
|   |             |         |        | 届く範囲は必要に応じ |             |
|   |             |         |        | て鉄筋棒等を挿入し確 |             |
|   |             |         |        | 認する。       |             |
|   | ()          | 基礎      | 基礎の沈下等 | 目視及び建具の開閉具 | 地盤沈下に伴う著しい  |
| 建 |             |         | の状況    | 合等により確認する。 | ひび割れがあること又  |
| 築 |             |         |        |            | は建具開閉等に支障が  |
| 物 |             |         |        |            | あること。       |
| の | ( <u></u> ) |         | 基礎の劣化及 | 目視により確認する。 | 礎石にずれがあること  |
| 外 |             |         | び損傷の状況 |            | 又はコンクリート面に  |
| 部 |             |         |        |            | 鉄筋露出若しくは著し  |
|   |             |         |        |            | いひび割れ、欠損等があ |
|   |             |         |        |            | ること。        |
|   | (三)         | 土台(木造に限 | 土台の沈下等 | 目視及び建具の開閉具 | 土台にたわみ、傾斜等が |
|   |             | る。)     | の状況    | 合等により確認する。 | あること又は建具開閉  |
|   |             |         |        |            | に支障があること。   |
|   |             |         |        |            |             |

| (四) |        | 土台の劣化及  | 目視及び手の届く範囲 | 木材に著しい腐朽、損傷    |
|-----|--------|---------|------------|----------------|
|     |        | び損傷の状況  | をテストハンマーによ | <br>若しくは虫害があるこ |
|     |        |         | る打診等により確認す | と又は緊結金物に著し     |
|     |        |         | る。         | い錆、腐食等があるこ     |
|     |        |         |            | <u>ک</u> 。     |
| (五) | 外壁 躯体等 | 外壁、軒裏及び | 設計図書等により確認 | 法第二十三条、法第二十    |
|     |        | 外壁の開口部  | する。        | 五条又は法第六十一条     |
|     |        | で延焼のおそ  |            | の規定に適合しないこ     |
|     |        | れのある部分  |            | と。             |
|     |        | の防火対策の  |            |                |
|     |        | 状況      |            |                |
| (六) |        | 木造の外壁躯  | 必要に応じて双眼鏡等 | 木材に著しい腐朽、損傷    |
|     |        | 体の劣化及び  | を使用し目視により確 | 若しくは虫害があるこ     |
|     |        | 損傷の状況   | 認する。       | と又は緊結金物に著し     |
|     |        |         |            | い錆、腐食等があるこ     |
|     |        |         |            | と。             |
| (七) |        | 組積造の外壁  | 必要に応じて双眼鏡等 | れんが、石等に割れ、ず    |
|     |        | 躯体の劣化及  | を使用し目視により確 | れ等があること。       |
|     |        | び損傷の状況  | 認する。       |                |
| (八) |        | 補強コンクリ  | 必要に応じて双眼鏡等 | 目地モルタルに著しい     |
|     |        | ートブロック  | を使用し目視により確 | 欠落があること又はブ     |
|     |        | 造の外壁躯体  | 認する。       | ロック積みに変位等が     |
|     |        | の劣化及び損  |            | あること。          |
|     |        | 傷の状況    |            |                |
| (九) |        | 鉄骨造の外壁  | 必要に応じて双眼鏡等 | 鋼材に著しい錆、腐食等    |
|     |        | 躯体の劣化及  | を使用し目視により確 | があること。         |
|     |        | び損傷の状況  | 認する。       |                |
| (十) |        | 鉄筋コンクリ  | 必要に応じて双眼鏡等 | コンクリート面に鉄筋     |
|     |        | ート造及び鉄  | を使用し目視により確 | 露出又は著しい白華、ひ    |
|     |        | 骨鉄筋コンク  | 認する。       | び割れ、欠損等があるこ    |
|     |        | リート造の外  |            | と。             |

|          |     | 壁躯体の劣化  |                  |             |
|----------|-----|---------|------------------|-------------|
|          |     | 及び損傷の状  |                  |             |
|          |     | 況       |                  |             |
| (+       |     | タイル、石貼り | <br> 開口隅部、水平打継部、 |             |
| <u> </u> | 上げ材 |         | 斜壁部等のうち手の届       |             |
|          | 等   | よるものを除  | く範囲をテストハンマ       | 白華、ひび割れ、浮き等 |
|          |     | く。)、モルタ | ーによる打診等(無人       | があること。      |
|          |     | ル等の劣化及  | <br>航空機による赤外線調   |             |
|          |     | び損傷の状況  | 査であって、テストハ       |             |
|          |     |         | ンマーによる打診と同       |             |
|          |     |         | 等以上の精度を有する       |             |
|          |     |         | ものを含む。以下この       |             |
|          |     |         | 項において同じ。)に       |             |
|          |     |         | より確認し、その他の       |             |
|          |     |         | 部分は必要に応じて双       |             |
|          |     |         | 眼鏡等を使用し目視に       |             |
|          |     |         | より確認し、異常が認       |             |
|          |     |         | められた場合にあって       |             |
|          |     |         | は、全面打診等(落下       |             |
|          |     |         | により歩行者等に危害       |             |
|          |     |         | を加えるおそれのある       |             |
|          |     |         | 部分の全面的な打診等       |             |
|          |     |         | をいう。以下この項に       |             |
|          |     |         | おいて同じ。)により       |             |
|          |     |         | 確認する。ただし、竣       |             |
|          |     |         | 工後、外壁改修後又は       |             |
|          |     |         | 全面打診等を実施した       |             |
|          |     |         | 後十年を超え、最初に       |             |
|          |     |         | 実施する定期調査等に       |             |
|          |     |         | あっては、全面打診等       |             |
|          |     |         | により確認する(三年       |             |

| Г        |     | Т        |            |             |
|----------|-----|----------|------------|-------------|
|          |     |          | 以内に実施された全面 |             |
|          |     |          | 打診等の結果を確認す |             |
|          |     |          | る場合、三年以内に外 |             |
|          |     |          | 壁改修等が行われるこ |             |
|          |     |          | とが確実である場合又 |             |
|          |     |          | は別途歩行者等の安全 |             |
|          |     |          | を確保するための対策 |             |
|          |     |          | を講じている場合を除 |             |
|          |     |          | < 。 ) 。    |             |
| (+       |     | 乾式工法によ   | 必要に応じて双眼鏡等 | ひび割れ、欠損等がある |
| <u> </u> |     | るタイル、石貼  | を使用し目視により確 | こと。         |
|          |     | り等の劣化及   | 認する。       |             |
|          |     | び損傷の状況   |            |             |
| (+       |     | 金属系パネル   | 必要に応じて双眼鏡等 | パネル面又は取合い部  |
| 三)       |     | (帳壁を含    | を使用し目視により確 | が著しい錆等により変  |
|          |     | む。)の劣化及  | 認する。       | 形していること。    |
|          |     | び損傷の状況   |            |             |
| (+       |     | コンクリート   | 必要に応じて双眼鏡等 | 錆汁を伴ったひび割れ、 |
| 四)       |     | 系パネル (帳壁 | を使用し目視により確 | 欠損等があること。   |
|          |     | を含む。)の劣  | 認する。       |             |
|          |     | 化及び損傷の   |            |             |
|          |     | 状況       |            |             |
| (+       | 窓サッ | サッシ等の劣   | 必要に応じて双眼鏡等 | サッシ等の腐食又はネ  |
| 五.)      | シ等  | 化及び損傷の   | を使用し目視により確 | ジ等の緩みにより変形  |
|          |     | 状況       | 認し又は開閉により確 | していること。     |
|          |     |          | 認する。       |             |
| (+       |     | はめ殺し窓の   | 触診により確認する。 | 昭和四十六年建設省告  |
| 六)       |     | ガラスの固定   |            | 示第百九号第三第四号  |
|          |     | の状況      |            | の規定に適合していな  |
|          |     |          |            | いこと。        |
| (+       | 外壁に | 機器本体の劣   | 必要に応じて双眼鏡等 | 機器本体に著しい錆又  |

|   | 七)          |      | 緊結さ  | 化及び損傷の              | を使用し目視により確 | は腐食があること。   |
|---|-------------|------|------|---------------------|------------|-------------|
|   |             |      | れた広  | 状況                  | 認する。       |             |
|   |             |      | 告板、空 |                     |            |             |
|   |             |      | 調室外  |                     |            |             |
|   |             |      | 機等   |                     |            |             |
|   | (+          |      |      | 支持部分等の              | 必要に応じて双眼鏡等 | 支持部分に緊結不良が  |
|   | 八)          |      |      | 劣化及び損傷              | を使用し目視により確 | あること又は緊結金物  |
|   |             |      |      | の状況                 | 認し又は手の届く範囲 | に著しい錆、腐食等があ |
|   |             |      |      |                     | をテストハンマーによ | ること。        |
|   |             |      |      |                     | る打診等により確認す |             |
|   |             |      |      |                     | る。         |             |
| 三 | ()          | 屋上面  | •    | 屋上面の劣化              | 目視により確認する。 | 歩行上危険なひび割れ  |
| 屋 |             |      |      | 及び損傷の状              |            | 若しくは反りがあるこ  |
| 上 |             |      |      | 況                   |            | と又は伸縮目地材が欠  |
| 及 |             |      |      |                     |            | 落し植物が繁茂してい  |
| び |             |      |      |                     |            | ること。        |
| 屋 | ( <u></u> ) | 屋上回り | (屋上面 | パラペットの              | 目視及びテストハンマ | モルタル等の仕上げ材  |
| 根 |             | を除く。 | )    | 立ち上り面の              | ーによる打診等により | に著しい白華、ひび割れ |
|   |             |      |      | 劣化及び損傷              | 確認する。      | 等があること又はパネ  |
|   |             |      |      | の状況                 |            | ルが破損していること。 |
|   | (三)         |      |      | 笠木モルタル              | 目視及びテストハンマ | モルタル面に著しいひ  |
|   |             |      |      | 等の劣化及び              | ーによる打診等により | び割れ、欠損等があるこ |
|   |             |      |      | 損傷の状況               | 確認する。      | と。          |
|   | (四)         |      |      | 金属笠木の劣              | 目視及びテストハンマ | 笠木に著しい錆若しく  |
|   |             |      |      | 化及び損傷の              | ーによる打診等により | は腐食があること又は  |
|   |             |      |      | 状況                  | 確認する。      | 笠木接合部に緩みがあ  |
|   |             |      |      |                     |            | り部分的に変形してい  |
|   |             |      |      |                     |            | ること。        |
|   | (五)         |      |      | <u></u><br>排水溝 (ドレー | 目視及びテストハンマ | 排水溝のモルタルに著  |
|   |             |      |      | ンを含む。) の            | ーによる打診等により | しいひび割れ、浮き等が |
|   |             |      |      | 劣化及び損傷              | 確認する。      | あること。       |

|   |     |          | の状況     |            |             |
|---|-----|----------|---------|------------|-------------|
|   | (六) | 屋根       | 屋根の防火対  | 設計図書等により確認 | 防火地域又は準防火地  |
|   |     |          | 策の状況    | する。        | 域内の建築物の屋根に  |
|   |     |          |         |            | あっては法第六十二条  |
|   |     |          |         |            | の規定に適合しないこ  |
|   |     |          |         |            | と又は法第二十二条の  |
|   |     |          |         |            | 規定に基づき特定行政  |
|   |     |          |         |            | 庁が防火地域及び準防  |
|   |     |          |         |            | 火地域以外の市街地に  |
|   |     |          |         |            | ついて指定する区域内  |
|   |     |          |         |            | の建築物の屋根にあっ  |
|   |     |          |         |            | ては同条の規定に適合  |
|   |     |          |         |            | しないこと。      |
|   | (七) |          | 屋根の劣化及  | 必要に応じて双眼鏡等 | 屋根ふき材に割れがあ  |
|   |     |          | び損傷の状況  | を使用し目視により確 | ること又は緊結金物に  |
|   |     |          |         | 認し又はテストハンマ | 著しい腐食等があるこ  |
|   |     |          |         | ーによる打診等により | と。          |
|   |     |          |         | 確認する。      |             |
| Ī | (八) | 機器及び工作物  | 機器、工作物本 | 目視及びテストハンマ | 機器若しくは工作物本  |
|   |     | (冷却塔設備、広 | 体及び接合部  | ーによる打診等により | 体又はこれらと屋上及  |
|   |     | 告塔等)     | の劣化及び損  | 確認する。      | び屋根との接合部に著  |
|   |     |          | 傷の状況    |            | しい錆、腐食等があるこ |
|   |     |          |         |            | と。          |
|   | (九) |          | 支持部分等の  | 目視及びテストハンマ | 支持部分に緊結不良若  |
|   |     |          | 劣化及び損傷  | ーによる打診等により | しくは緊結金物に著し  |
|   |     |          | の状況     | 確認する。      | い腐食等又はコンクリ  |
|   |     |          |         |            | ート基礎等に著しいひ  |
|   |     |          |         |            | び割れ、欠損等があるこ |
|   |     |          |         |            | と。          |
|   | ()  | 防火区 令第百十 | 二条第十一項  | 設計図書等により確認 | 令第百十二条第十一項  |
|   |     | 画から第十    | 三項までに規  | する。        | から第十三項までの規  |

| 築 |             | 定する区画の状況        | 定に適合しないこと。た       |
|---|-------------|-----------------|-------------------|
| 物 |             |                 | だし、令第百二十九条の       |
| の |             |                 | 二第一項の規定が適用        |
| 内 |             |                 | され、かつ全館避難安全       |
| 部 |             |                 | 性能に影響を及ぼす修        |
|   |             |                 | 繕や模様替え等(以下        |
|   |             |                 | 「修繕等」という。)が       |
|   |             |                 | 行われていない場合を        |
|   |             |                 | 除く。               |
|   | ( <u></u> ) | 令第百十二条第一項、第設計図書 | 等により確認や第百十二条第一項、第 |
|   |             | 四項、第五項又は第七項する。  | 四項、第五項又は第七項       |
|   |             | から第十項までの各項      | から第十項まで(令第百       |
|   |             | に規定する区画の状況      | 二十九条の二第一項の        |
|   |             |                 | 規定が適用され、かつ全       |
|   |             |                 | 館避難安全性能に影響        |
|   |             |                 | を及ぼす修繕等が行わ        |
|   |             |                 | れていない場合にあっ        |
|   |             |                 | ては、第七項を除く。)       |
|   |             |                 | の規定に適合しないこ        |
|   |             |                 | <i>ک</i> 。        |
|   | (三)         | 令第百十二条第十八項 設計図書 | 等により確認や第百十二条第十八項  |
|   |             | に規定する区画の状況 する。  | の規定に適合しないこ        |
|   |             |                 | と。ただし、令第百二十       |
|   |             |                 | 九条の二第一項の規定        |
|   |             |                 | が適用され、かつ全館避       |
|   |             |                 | 難安全性能に影響を及        |
|   |             |                 | ぼす修繕等が行われて        |
|   |             |                 | いない場合を除く。         |
|   | (四)         | 防火区 令第百十二条 設計図書 | 等により確認や第百十二条第十六項  |
|   |             | 画の外 第十六項に規 する。  | 又は第十七項の規定に        |
|   |             | 周部定する外壁等        | 適合しないこと。          |
|   |             |                 |                   |

|     |     | 1   |        |            |             |
|-----|-----|-----|--------|------------|-------------|
|     |     |     | 及び同条第十 |            |             |
|     |     |     | 七項に規定す |            |             |
|     |     |     | る防火設備の |            |             |
|     |     |     | 処置の状況  |            |             |
| (五) |     |     | 令第百十二条 | 目視により確認する。 | 令第百十二条第十六項  |
|     |     |     | 第十六項に規 |            | に規定する外壁等、同条 |
|     |     |     | 定する外壁等 |            | 第十七項に規定する防  |
|     |     |     | 及び同条第十 |            | 火設備に損傷があるこ  |
|     |     |     | 七項に規定す |            | と。          |
|     |     |     | る防火設備の |            |             |
|     |     |     | 劣化及び損傷 |            |             |
|     |     |     | の状況    |            |             |
| (六) | 壁の室 | 躯体等 | 木造の壁の室 | 必要に応じて双眼鏡等 | 木材に著しい腐朽、損傷 |
|     | 内に面 |     | 内に面する部 | を使用し目視により確 | 若しくは虫害があるこ  |
|     | する部 |     | 分の躯体の劣 | 認する。       | と又は緊結金物に著し  |
|     | 分   |     | 化及び損傷の |            | い錆、腐食等があるこ  |
|     |     |     | 状況     |            | と。          |
| (七) |     |     | 組積造の壁の | 必要に応じて双眼鏡等 | れんが、石等に割れ、ず |
|     |     |     | 室内に面する | を使用し目視により確 | れ等があること。    |
|     |     |     | 部分の躯体の | 認する。       |             |
|     |     |     | 劣化及び損傷 |            |             |
|     |     |     | の状況    |            |             |
| (八) |     |     | 補強コンクリ | 必要に応じて双眼鏡等 | 目地モルタルに著しい  |
|     |     |     | ートブロック | を使用し目視により確 | 欠落があること又はブ  |
|     |     |     | 造の壁の室内 | 認する。       | ロック積みに変位があ  |
|     |     |     | に面する部分 |            | ること。        |
|     |     |     | の躯体の劣化 |            |             |
|     |     |     | 及び損傷の状 |            |             |
|     |     |     | 況      |            |             |
| (九) |     |     | 鉄骨造の壁の | 必要に応じて双眼鏡等 | 鋼材に著しい錆、腐食等 |
|     |     |     | 室内に面する | を使用し目視により確 | があること。      |

|            |      | 部分の躯体の | 認する。       |                 |
|------------|------|--------|------------|-----------------|
|            |      | 劣化及び損傷 |            |                 |
|            |      | の状況    |            |                 |
| (十)        |      | 鉄筋コンクリ | 必要に応じて双眼鏡等 | コンクリート面に鉄筋      |
|            |      | ート造及び鉄 | を使用し目視により確 | <br>露出又は著しい白華、U |
|            |      | 骨鉄筋コンク | 認する。       | び割れ、欠損等があるこ     |
|            |      | リート造の壁 |            | と。              |
|            |      | の室内に面す |            |                 |
|            |      | る部分の躯体 |            |                 |
|            |      | の劣化及び損 |            |                 |
|            |      | 傷の状況   |            |                 |
| (+         | 耐火構  | 準耐火性能等 | 設計図書等により確認 | 次の各号のいずれかに      |
| <u></u> —) | 造の壁  | の確保の状況 | する。        | 該当すること。         |
|            | 又は準  |        |            | (一) 令第百十二条第     |
|            | 耐火構  |        |            | 一項、第四項から第六      |
|            | 造の壁  |        |            | 項まで又は第十八項       |
|            | (防火  |        |            | (令第百二十九条の       |
|            | 区画を  |        |            | 二第一項の規定が適       |
|            | 構成す  |        |            | 用され、かつ、全館避      |
|            | る壁に  |        |            | 難安全性能に影響を       |
|            | 限る。) |        |            | 及ぼす修繕等が行わ       |
|            |      |        |            | れていない場合にあ       |
|            |      |        |            | っては、第十八項を除      |
|            |      |        |            | く。)の規定による防      |
|            |      |        |            | 火区画 一時間準耐       |
|            |      |        |            | 火基準に適合しない       |
|            |      |        |            | こと。             |
|            |      |        |            | (二) 令第百十二条第     |
|            |      |        |            | 七項又は第十項(令第      |
|            |      |        |            | 百二十九条の二第一       |
|            |      |        |            | 項の規定が適用され、      |

|    | 1 |         |            |             |
|----|---|---------|------------|-------------|
|    |   |         |            | かつ、全館避難安全性  |
|    |   |         |            | 能に影響を及ぼす修   |
|    |   |         |            | 繕等が行われていな   |
|    |   |         |            | い場合にあっては、第  |
|    |   |         |            | 七項を除く。)の規定  |
|    |   |         |            | による防火区画 令   |
|    |   |         |            | 第百七条の規定に適   |
|    |   |         |            | 合しないこと。     |
|    |   |         |            | (三) 令第百十二条第 |
|    |   |         |            | 十一項から第十三項   |
|    |   |         |            | まで又は第十六項 (令 |
|    |   |         |            | 第百二十九条の二第   |
|    |   |         |            | 一項の規定が適用さ   |
|    |   |         |            | れ、かつ、全館避難安  |
|    |   |         |            | 全性能に影響を及ぼ   |
|    |   |         |            | す修繕等が行われて   |
|    |   |         |            | いない場合にあって   |
|    |   |         |            | は、第十一項から第十  |
|    |   |         |            | 三項までを除く。)の  |
|    |   |         |            | 規定による防火区画   |
|    |   |         |            | 令第百七条の二の規   |
|    |   |         |            | 定に適合しないこと。  |
| (+ |   | 部材の劣化及  | 目視により確認する。 | 各部材及び接合部に穴  |
| )  |   | び損傷の状況  |            | 又は破損があること。  |
| (+ |   | 鉄骨の耐火被  | 設計図書等により確認 | 耐火被覆の剥がれ等に  |
| 三) |   | 覆の劣化及び  | し、修繕等が行われ、 | より鉄骨が露出してい  |
|    |   | 損傷の状況   | かつ、点検口等がある | ること。        |
|    |   |         | 場合にあっては、点検 |             |
|    |   |         | 口等から目視により確 |             |
|    |   |         | 認する。       |             |
| (+ |   | 給水管、配電管 | 設計図書等により確認 | 令第百十二条第二十項  |

| 四)  | その他     | の管又  | し、修繕等が行われ、 | 若しくは第二十一項又   |
|-----|---------|------|------------|--------------|
|     | は風道     | の区画  | かつ、点検口等がある | は令第百二十九条の二   |
|     | 貫通部     | の充填  | 場合にあっては、点検 | の四の規定に適合しな   |
|     | 等の処     | 理の状  | 口等から目視により確 | いこと。         |
|     | 況       |      | 認する。       |              |
| (+  | 令第百 令第百 | 十四条  | 設計図書等により確認 | 令第百十四条の規定に   |
| 五.) | 十四条 に規定 | する界  | し、法第十二条第一項 | 適合しないこと。     |
|     | に規定壁、間  | 仕切壁及 | の規定に基づく調査以 |              |
|     | する界 び隔壁 | の状況  | 後に法第六条第一項の |              |
|     | 壁、間仕    |      | 規定に基づく確認を要 |              |
|     | 切壁及     |      | しない規模の修繕等が |              |
|     | び隔壁     |      | 行われ、かつ、点検口 |              |
|     |         |      | 等がある場合にあって |              |
|     |         |      | は、点検口等から目視 |              |
|     |         |      | により確認する。   |              |
| (+  | 令第百 室内に | 面する  | 設計図書等により確認 | 令第百二十八条の五 (令 |
| 六)  | 二十八 部分の | 仕上げ  | する。        | 第百二十八条の六第一   |
|     | 条の五 の維持 | 保全の  |            | 項の規定が適用され、か  |
|     | 各項に 状況  |      |            | つ区画避難安全性能に   |
|     | 規定す     |      |            | 影響を及ぼす修繕等が   |
|     | る建築     |      |            | 行われていない場合、令  |
|     | 物の壁     |      |            | 第百二十九条第一項の   |
|     | の室内     |      |            | 規定が適用され、かつ階  |
|     | に面す     |      |            | 避難安全性能に影響を   |
|     | る部分     |      |            | 及ぼす修繕等が行われ   |
|     |         |      |            | ていない場合又は令第   |
|     |         |      |            | 百二十九条の二第一項   |
|     |         |      |            | の規定が適用され、かつ  |
|     |         |      |            | 全館避難安全性能に影   |
|     |         |      |            | 響を及ぼす修繕等が行   |
|     |         |      |            | われていない場合にあ   |
|     |         |      |            | われていない場合にあ   |

|    | 7 |      | 1      |            |              |
|----|---|------|--------|------------|--------------|
|    |   |      |        |            | っては、第二項、第六項、 |
|    |   |      |        |            | 第七項及び階段に係る   |
|    |   |      |        |            | 部分以外の規定を除    |
|    |   |      |        |            | く。) の規定に適合しな |
|    |   |      |        |            | いこと。         |
| (+ | 床 | 躯体等  | 木造の床躯体 | 目視により確認する。 | 木材に著しい腐朽、損傷  |
| 七) |   |      | の劣化及び損 |            | 若しくは虫害があるこ   |
|    |   |      | 傷の状況   |            | と又は緊結金物に著し   |
|    |   |      |        |            | い錆、腐食等があるこ   |
|    |   |      |        |            | と。           |
| (+ |   |      | 鉄骨造の床躯 | 目視により確認する。 | 鋼材に著しい錆、腐食等  |
| 八) |   |      | 体の劣化及び |            | があること。       |
|    |   |      | 損傷の状況  |            |              |
| (+ |   |      | 鉄筋コンクリ | 目視により確認する。 | コンクリート面に鉄筋   |
| 九) |   |      | ート造及び鉄 |            | 露出又は著しい白華、ひ  |
|    |   |      | 骨鉄筋コンク |            | び割れ、欠損等があるこ  |
|    |   |      | リート造の床 |            | と。           |
|    |   |      | 躯体の劣化及 |            |              |
|    |   |      | び損傷の状況 |            |              |
| (  |   | 耐火構  | 準耐火性能等 | 設計図書等により確認 | 次の(一)から(三)まで |
| +) |   | 造の床  | の確保の状況 | する。        | のいずれかに該当する   |
|    |   | 又は準  |        |            | こと。          |
|    |   | 耐火構  |        |            | (一) 令第百十二条第  |
|    |   | 造の床  |        |            | 一項、第四項から第六   |
|    |   | (防火  |        |            | 項まで又は第十八項    |
|    |   | 区画を  |        |            | (令第百二十九条の    |
|    |   | 構成す  |        |            | 二第一項の規定が適    |
|    |   | る床に  |        |            | 用され、かつ、全館避   |
|    |   | 限る。) |        |            | 難安全性能に影響を    |
|    |   |      |        |            | 及ぼす修繕等が行わ    |
|    |   |      |        |            | れていない場合にあ    |

っては、第十八項を除 く。)の規定による防 火区画 一時間準耐 火基準に適合しない こと。 (二) 令第百十二条第 七項又は第十項(令第 百二十九条の二第一 項の規定が適用され、 かつ、全館避難安全性 能に影響を及ぼす修 繕等が行われていな い場合にあっては、第 七項を除く。)の規定 による防火区画 令 第百七条の規定に適 合しないこと。 (三) 令第百十二条第 十一項から第十三項 まで又は第十六項(令 第百二十九条の二第 一項の規定が適用さ れ、かつ、全館避難安 全性能に影響を及ぼ す修繕等が行われて いない場合にあって は、第十一項から第十 三項までを除く。)の 規定による防火区画 令第百七条の二の規

定に適合しないこと。

| (二十        |    |     | 部材の劣化及  | 目視により確認する。 | 各部材又は接合部に穴   |
|------------|----|-----|---------|------------|--------------|
| <b>→</b> ) |    |     | び損傷の状況  |            | 又は破損があること。   |
| (二十        |    |     | 給水管、配電管 | 設計図書等により確認 | 令第百十二条第二十項   |
| 二)         |    |     | その他の管又  | し、修繕等が行われ、 | 若しくは第二十一項又   |
|            |    |     | は風道の区画  | かつ、点検口等がある | は令令第百二十九条の   |
|            |    |     | 貫通部の充填  | 場合にあっては点検口 | 二の四の規定に適合し   |
|            |    |     | 等の処理の状  | 等から目視により確認 | ないこと。        |
|            |    |     | 況       | する。        |              |
| (二十)       | 天井 | 令第百 | 室内に面する  | 設計図書等により確認 | 令第百二十八条の五 (令 |
| 三)         |    | 二十八 | 部分の仕上げ  | する。        | 第百二十八条の六第一   |
|            |    | 条の五 | の維持保全の  |            | 項の規定が適用され、か  |
|            |    | 各項に | 状況      |            | つ区画避難安全性能に   |
|            |    | 規定す |         |            | 影響を及ぼす修繕等が   |
|            |    | る建築 |         |            | 行われていない場合、令  |
|            | ;  | 物の天 |         |            | 第百二十九条第一項の   |
|            |    | 井の室 |         |            | 規定が適用され、かつ階  |
|            |    | 内に面 |         |            | 避難安全性能に影響を   |
|            |    | する部 |         |            | 及ぼす修繕等が行われ   |
|            |    | 分   |         |            | ていない場合又は令第   |
|            |    |     |         |            | 百二十九条の二第一項   |
|            |    |     |         |            | の規定が適用され、かつ  |
|            |    |     |         |            | 全館避難安全性能に影   |
|            |    |     |         |            | 響を及ぼす修繕等が行   |
|            |    |     |         |            | われていない場合にあ   |
|            |    |     |         |            | っては、第二項、第六項、 |
|            |    |     |         |            | 第七項及び階段に係る   |
|            |    |     |         |            | 部分以外の規定を除    |
|            |    |     |         |            | く。) の規定に適合しな |
|            |    |     |         |            | いこと。         |
| (二十        |    |     | 室内に面する  | 必要に応じて双眼鏡等 | 室内に面する部分の仕   |
| 四)         |    |     | 部分の仕上げ  | を使用し目視により確 | 上げに浮き、たわみ等の  |

| l.  | ]     |      | の少りなりなり | 割し カルニット・ンペー | ルルせし ノユ担佐ジャ |
|-----|-------|------|---------|--------------|-------------|
|     |       |      |         | 認し又はテストハンマ   |             |
|     |       |      |         | 一による打診等により   |             |
|     |       |      |         |              | ること。        |
| (二十 | 朱     | 寺定天  | 特定天井の天  | 必要に応じて双眼鏡等   | 天井材に腐食、緩み、外 |
| 五)  | j.    | ‡    | 井材の劣化及  | を使用し目視により確   | れ、欠損、たわみ等があ |
|     |       |      | び損傷の状況  | 認する。         | ること。        |
| (二十 | 防火設備( | 防火扉、 | 区画に対応し  | 目視及び設計図書等に   | 令第百十二条第十九項  |
| 六)  | 防火シャッ | ッターそ | た防火設備又  | より確認する。      | の規定に適合しないこ  |
|     | の他これら | っに類す | は戸の設置の  |              | と。          |
|     | るものに随 | 艮る。以 | 状況      |              |             |
|     | 下同じ。) | 又は戸  |         |              |             |
| (_+ |       |      | 居室から地上  | 目視及び設計図書等に   | 令第百十二条第十九項  |
| 七)  |       |      | へ通じる主た  | より確認する。      | の規定に適合しないこ  |
|     |       |      | る廊下、階段そ |              | と。          |
|     |       |      | の他の通路に  |              |             |
|     |       |      | 設置された防  |              |             |
|     |       |      | 火設備又は戸  |              |             |
|     |       |      | におけるくぐ  |              |             |
|     |       |      | り戸の設置の  |              |             |
|     |       |      | 状況      |              |             |
| (二十 |       |      | 昭和四十八年  | 常時閉鎖した状態にあ   | 昭和四十八年建設省告  |
| 八)  |       |      | 建設省告示第  | る防火扉又は戸(以下   | 示第二千五百六十三号  |
|     |       |      | 二千五百六十  | 「常閉防火扉等」とい   | 第一第一号ロの規定に  |
|     |       |      | 三号第一第一  | う。)にあっては、各   | 適合しないこと。    |
|     |       |      | 号ロに規定す  | 階の主要な常閉防火扉   |             |
|     |       |      | る基準につい  | 等の閉鎖時間をストッ   |             |
|     |       |      | ての適合の状  | プウォッチ等により測   |             |
|     |       |      | 況       | 定し、扉の重量により   |             |
|     |       |      |         | 運動エネルギーを確認   |             |
|     |       |      |         | するとともに、必要に   |             |
| ļ   |       |      |         | 応じて閉鎖する力をテ   |             |

|     | <u> </u> |            | ,            |
|-----|----------|------------|--------------|
|     |          | ンションゲージ等によ |              |
|     |          | り測定する。ただし、 |              |
|     |          | 三年以内に実施した点 |              |
|     |          | 検の記録がある場合に |              |
|     |          | あっては、当該記録に |              |
|     |          | より確認することで足 |              |
|     |          | りる。        |              |
| (二十 | 防火扉又は戸   | 目視により確認する。 | 令第百二十三条第一項   |
| 九)  | の開放方向    |            | 第六号、第二項第二号又  |
|     |          |            | は第三項第十号 (令第百 |
|     |          |            | 二十九条第一項の規定   |
|     |          |            | が適用され、かつ階避難  |
|     |          |            | 安全性能に影響を及ぼ   |
|     |          |            | す修繕等が行われてい   |
|     |          |            | ない場合にあっては、第  |
|     |          |            | 三項第十号 (屋内からバ |
|     |          |            | ルコニー又は付室に通   |
|     |          |            | ずる出入口に係る部分   |
|     |          |            | に限る。)を除き、令第  |
|     |          |            | 百二十九条の二第一項   |
|     |          |            | の規定が適用され、かつ  |
|     |          |            | 全館避難安全性能に影   |
|     |          |            | 響を及ぼす修繕等が行   |
|     |          |            | われていない場合にあ   |
|     |          |            | っては、第一項第六号、  |
|     |          |            | 第二項第二号及び第三   |
|     |          |            | 項第十号を除く。)の規  |
|     |          |            | 定に適合しないこと。   |
| (三  | 常時閉鎖又は   | 目視により確認する。 | 常閉防火設備等の変形   |
| +)  | 作動した状態   |            | 又は損傷により遮炎性   |
|     | にある防火設   |            | 能又は遮煙性能(令第百  |
|     |          |            |              |

|           | 1        |          |            |             |
|-----------|----------|----------|------------|-------------|
|           |          | 備又は戸 (以下 |            | 十二条第十九項第二号  |
|           |          | 「常閉防火設   |            | に規定する特定防火設  |
|           |          | 備等」という。) |            | 備又は常閉防火設備等  |
|           |          | の本体と枠の   |            | に限る。)に支障がある |
|           |          | 劣化及び損傷   |            | こと。         |
|           |          | の状況      |            |             |
| (三十       |          | 常閉防火設備   | 各階の主要な常閉防火 | 常閉防火設備等が閉鎖  |
| <u></u> ) |          | 等の閉鎖又は   | 設備等の閉鎖又は作動 | 又は作動しないこと。  |
|           |          | 作動の状況    | を確認する。ただし、 |             |
|           |          |          | 三年以内に実施した点 |             |
|           |          |          | 検の記録がある場合に |             |
|           |          |          | あっては、当該記録に |             |
|           |          |          | より確認することで足 |             |
|           |          |          | りる。        |             |
| (三十       |          | 常閉防火設備   | 目視により確認する。 | 物品が放置されている  |
| 二)        |          | 等の閉鎖又は   |            | ことにより常閉防火設  |
|           |          | 作動の障害と   |            | 備等の閉鎖又は作動に  |
|           |          | なる物品の放   |            | 支障があること。    |
|           |          | 置の状況     |            |             |
| (三十       |          | 常閉防火扉等   | 目視により確認する。 | 常閉防火扉等が開放状  |
| 三)        |          | の固定の状況   |            | 態に固定されているこ  |
|           |          |          |            | と。          |
| (三十       | 照明器具、懸垂物 | 照明器具、懸垂  | 必要に応じて双眼鏡等 | 照明器具又は懸垂物に  |
| 四)        | 等        | 物等の落下防   | を使用し目視により確 | 著しい錆、腐食、緩み、 |
|           |          | 止対策の状況   | 認し又は触診により確 | 変形等があること。   |
|           |          |          | 認する。       |             |
| (三十       |          | 防火設備又は   | 目視により確認する。 | 防火設備又は戸の閉鎖  |
| 五)        |          | 戸の閉鎖の障   |            | に支障があること。   |
|           |          | 害となる照明   |            |             |
|           |          | 器具、懸垂物等  |            |             |
|           |          | の状況      |            |             |
|           |          |          |            |             |

| (三十        | 警報設備     | 警報設備の設 | 目視及び設計図書等に  | 令第百十条の五の規定  |
|------------|----------|--------|-------------|-------------|
| 六)         |          | 置の状況   | より確認する。ただし、 | に適合しないこと。   |
|            |          |        | 六月以内に実施した消  |             |
|            |          |        | 防法(昭和二十三年法  |             |
|            |          |        | 律第百八十六号)第十  |             |
|            |          |        | 七条の三の三の規定に  |             |
|            |          |        | 基づく点検(以下「消  |             |
|            |          |        | 防法に基づく点検」と  |             |
|            |          |        | いう。)の記録がある  |             |
|            |          |        | 場合にあっては、当該  |             |
|            |          |        | 記録により確認するこ  |             |
|            |          |        | とで足りる。      |             |
| (三十        |          | 警報設備の劣 | 目視により確認する。  | 警報設備に著しい腐食  |
| 七)         |          | 化及び損傷の | ただし、六月以内に実  | 変形、損傷等があるこ  |
|            |          | 状況     | 施した消防法に基づく  | と。          |
|            |          |        | 点検の記録がある場合  |             |
|            |          |        | にあっては、当該記録  |             |
|            |          |        | により確認することで  |             |
|            |          |        | 足りる。        |             |
| (三十        | 居室の採光及び換 | 採光のための | 設計図書等により確認  | 法第二十八条第一項又  |
| 八)         | 気        | 開口部の面積 | し又は鋼製巻尺等によ  | は令第十九条の規定に  |
|            |          | の確保の状況 | り測定する。      | 適合しないこと。    |
| (三十        |          | 採光の妨げと | 目視により確認する。  | 採光の妨げとなる物品  |
| 九)         |          | なる物品の放 |             | が放置されていること  |
|            |          | 置の状況   |             |             |
| (四         |          | 換気のための | 設計図書等により確認  | 法第二十八条第二項、  |
| +)         |          | 開口部の面積 | し又は鋼製巻尺等によ  | 第二十条の二又は令第  |
|            |          | の確保の状況 | り測定する。      | 二十条の三の規定に適  |
|            |          |        |             | 合しないこと。     |
| (四十        |          | 換気設備の設 | 設計図書等により確認  | 法第二十八条第二項若  |
| <u></u> —) |          | 置の状況   | する。         | しくは第三項、令第二- |

|  | スは令第二十条<br>見定に適合しな<br>曲が作動しない |
|--|-------------------------------|
| (四十       換気設備の作 各階の主要な換気設備 換気設備         二)       動の状況         の作動を確認する。たこと。 |                               |
| (四十 換気設備の作 各階の主要な換気設備換気設備<br>動の状況 の作動を確認する。たこと。                              | <br>備が作動しない                   |
| 二) 動の状況 の作動を確認する。たこと。  | #が作動しない                       |
|  |                               |
| だし、三年以内に実施   |                               |
|  |                               |
| した法第十二条第三項   |                               |
| の規定に基づく検査  |                               |
| (以下「定期検査」と   |                               |
| いう。)の記録がある   |                               |
| 場合にあっては、当該   |                               |
| 記録により確認するこ   |                               |
| とで足りる。   |                               |
| (四十 換気の妨げと 目視により確認する。 換気の妨   | 方げとなる物品                       |
| 三) なる物品の放 が放置さ   | されていること。                      |
| 置の状況   |                               |
| (四十石綿等を添加した吹付け石綿及 設計図書、分析機関に平成十月   | (年国土交通省                       |
| 四) 建築材料 び吹付けロッ よる分析結果、目視等 告示第二   | 千百七十二号各                       |
| クウールでそ により確認する。 号に定め   | りる石綿をあら                       |
| の含有する石かじめる   | たかした 建築材                      |
| 綿の重量が当料を使用   | 用していること。                      |
| 該建築材料の   |                               |
| 重量の〇・一パ  |                               |
| ーセントを超   |                               |
| えるもの (以下   |                               |
| 「吹付け石綿   |                               |
| 等」という。)  |                               |
| の使用の状況   |                               |
| (四十 吹付け石綿等 三年以内に実施した劣表面の事  | <br>毛羽立ち、繊維の                  |
| 五) の劣化の状況 化状況調査の結果を確くずれ、   | たれ下がり、下                       |
| 認する。 地からの  | D浮き、剥離等が                      |

|     |             | あること又は三年以内       |
|-----|-------------|------------------|
|     |             | に劣化状況調査が行わ       |
|     |             | れていないこと。         |
| (四十 | 除去又は囲い 必要に帰 |                  |
| 六)  | 込み若しくはを使用し  | し目視により確かに該当すること。 |
|     | 封じ込めによ 認する。 | (一) 増築若しくは改      |
|     | る飛散防止措      | 築を行った場合の当        |
|     | 置の実施の状      | 該部分、増築若しく        |
|     | 況           | 改築に係る部分の床        |
|     |             | 面積の合計が令第百        |
|     |             | 三十七条に定める基        |
|     |             | <b>準時(以下「基準時</b> |
|     |             | という。) における       |
|     |             | べ面積の二分の一を        |
|     |             | 越える増築若しくは        |
|     |             | 改築を行った場合の        |
|     |             | 当該部分以外の部分        |
|     |             | 又は大規模の修繕若        |
|     |             | しくは大規模の模様        |
|     |             | 替えを行った場合の        |
|     |             | 当該部分において、        |
|     |             | 付け石綿等の除去を        |
|     |             | していないこと。         |
|     |             | (二) 増築若しくは改      |
|     |             | 築に係る部分の床面        |
|     |             | 積の合計が基準時に        |
|     |             | おける延べ面積の二        |
|     |             | 分の一を越えない増        |
|     |             | 築若しくは改築を行        |
|     |             | った場合の当該部分        |
|     |             | 以外の部分又は大規        |

|    |             | -        |        |            |             |
|----|-------------|----------|--------|------------|-------------|
|    |             |          |        |            | 模の修繕若しくは大   |
|    |             |          |        |            | 規模の模様替えを行   |
|    |             |          |        |            | った場合の当該部分   |
|    |             |          |        |            | 以外の部分において、  |
|    |             |          |        |            | 吹付け石綿等の除去、  |
|    |             |          |        |            | 封じ込め又は囲い込   |
|    |             |          |        |            | みをしていないこと。  |
|    | (四十         |          | 囲い込み又は | 必要に応じて双眼鏡等 | 石綿飛散防止剤又は囲  |
|    | 七)          |          | 封じ込めによ | を使用し目視により確 | い込み材に亀裂、剥落等 |
|    |             |          | る飛散防止措 | 認する。       | の劣化又は損傷がある  |
|    |             |          | 置の劣化及び |            | こと。         |
|    |             |          | 損傷の状況  |            |             |
| 五. | ()          | 令第百二十条第二 | 令第百二十条 | 設計図書等により確認 | 令第百二十条又は第百  |
| 避  |             | 項に規定する通路 | 第二項に規定 | する。        | 二十一条(令第百二十九 |
| 難  |             |          | する通路の確 |            | 条第一項の規定が適用  |
| 施  |             |          | 保の状況   |            | され、かつ階避難安全性 |
| 設  |             |          |        |            | 能に影響を及ぼす修繕  |
| 等  |             |          |        |            | 等が行われていない場  |
|    |             |          |        |            | 合又は令第百二十九条  |
|    |             |          |        |            | の二第一項の規定が適  |
|    |             |          |        |            | 用され、かつ全館避難安 |
|    |             |          |        |            | 全性能に影響を及ぼす  |
|    |             |          |        |            | 修繕等が行われていな  |
|    |             |          |        |            | い場合にあっては、令第 |
|    |             |          |        |            | 百二十条を除く。)の規 |
|    |             |          |        |            | 定に適合しないこと。  |
|    | ( <u></u> ) | 廊下       | 幅の確保の状 | 設計図書等により確認 | 幅が令第百十九条の規  |
|    |             |          | 況      | し又は鋼製巻尺等によ | 定に適合しないこと。た |
|    |             |          |        | り測定する。     | だし、令第百二十九条第 |
|    |             |          |        |            | 一項の規定が適用され、 |
|    |             |          |        |            | かつ階避難安全性能に  |
|    |             |          |        |            |             |

| 能に影響を及ぼす修繕<br>等が行われていない場合を除く。<br>物品の放置の<br>状況 (四) 出入口の確保 目視及び設計図書等に 合第百十八条、第百二十<br>上り確認する。 四条、第百二十五条又は<br>第百二十五条の二(令等<br>百二十九条第一項の規<br>定が適用され、かつ階選<br>難安全性能に影響を及<br>ぼす修繕等が行われて<br>いない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>東二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一項<br>でが適用され、かつ全館<br>避難な全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除 | 1   | _   |        |            | T            |
|--|-----|-----|--------|------------|--------------|
| は今第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。  (三) 物品の放置の 目視により確認する。 避難の支障となる物品が放置されていること。 (四) 出入口 出入口の確保 目視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は第百二十五条第一項の規定が適用され、かつ階選難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十五条第一項を受けていない場合にあっては令第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。   |     |     |        |            | 影響を及ぼす修繕等が   |
| 第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。  (三) 物品の放置の 目視により確認する。避難の支障となる物品状況  |     |     |        |            | 行われていない場合又   |
| れ、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。  (四) 出入口 出入口 出入口の確保 目視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は第百二十五条の二(今第百二十五条の一項の規定が適用され、かつ階避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全貨避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第一二十五条第一項並びに第百二十五条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。   |     |     |        |            | は令第百二十九条の二   |
| 能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。 (三) 物品の放置の 財視により確認する。 避難の支障となる物品が放置されていること。 (四) 出入口 四人口の確保 目視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は第百二十五条の二(令第百二十九条第一項の規定が適用され、かつ階選難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。) の規定に適合しないこと。   |     |     |        |            | 第一項の規定が適用さ   |
| (三) 物品の放置の 目視により確認する。 避難の支障となる物品が放置されていること。 お放置されていること。 の状況 目視及び設計図書等に 令第百二十五条又は第百二十五条の二(令第百二十五条第一項の規定が適用され、かつ階運難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項が近に第百二十四条第一項並びに第百二十四条第一項並びに第百二十四条第一項並びに第百二十四条第一項がで第三項を除く。)の規定に適合しないこと。   |     |     |        |            | れ、かつ全館避難安全性  |
| (三) 物品の放置の 目視により確認する。 避難の支障となる物品が放置されていること。 (四) 出入口の確保 日視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は第百二十五条の二(令第百二十五条第一項の規定が適用され、かつ階選難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項の規定が適用され、かつ全創避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項並びに第百二十五条第一項がびに第百二十五条第一項がびに第百二十五条第一項をび第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 能に影響を及ぼす修繕   |
| (三) 物品の放置の 財視により確認する。避難の支障となる物品が放置されていること。 (四) 出入口 出入口の確保 目視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は 第百二十五条の二(令第百二十九条第一項の規定が適用され、かつ階選難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われて いない場合にあっては 令第百二十四条第一項 第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全質避難安全性能に影響を 及ぼす修繕等が行われて いない場合にあって は令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。) の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 等が行われていない場   |
| 状況 が放置されていること。 (四) 出入口 出入口の確保 目視及び設計図書等に 会第百十八条、第百二十五条又は 第百二十五条の二(令等 百二十九条第一項の規 定が適用され、かつ階選 難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われて いない場合にあっては 令第百二十四条第一項 第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規 定が適用され、かつ全難 難安全性能に影響を 及ぼす修繕等が行われて いない場合にあって は令第百二十四条第一項 並びに第百二十五条 第一項及び第三項を除く。) の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 合を除く。        |
| (四) 出入口 出入口の確保 目視及び設計図書等に 令第百十八条、第百二十五条又は 第百二十五条の二 (令第百二十九条第一項の規定 が適用され、かつ階連 難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われて いない場合にあっては 令第百二十四条第一項 第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定 が適用され、かつ全館 避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあって は令第百二十四条第一項並びに第百二十五条 第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  | (三) |     | 物品の放置の | 目視により確認する。 | 避難の支障となる物品   |
| の状況 より確認する。 四条、第百二十五条又は<br>第百二十五条の二(令第<br>百二十九条第一項の規<br>定が適用され、かつ階避<br>難安全性能に影響を及<br>ぼす修繕等が行われて<br>いない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二<br>十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。   |     |     | 状況     |            | が放置されていること。  |
| 第百二十五条の二(令第百二十九条第一項の規定が適用され、かつ階選難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全質避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  | (四) | 出入口 | 出入口の確保 | 目視及び設計図書等に | 令第百十八条、第百二十  |
| 百二十九条第一項の規定が適用され、かつ階避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。   |     |     | の状況    | より確認する。    | 四条、第百二十五条又は  |
| 定が適用され、かつ階選<br>難安全性能に影響を及<br>ぼす修繕等が行われて<br>いない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。   |     |     |        |            | 第百二十五条の二 (令第 |
| 難安全性能に影響を及<br>ぼす修繕等が行われて<br>いない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二<br>十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全質<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 百二十九条第一項の規   |
| ぼす修繕等が行われていない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全質<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 定が適用され、かつ階避  |
| いない場合にあっては<br>令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二<br>十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。  |     |     |        |            | 難安全性能に影響を及   |
| 令第百二十四条第一項<br>第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | ぼす修繕等が行われて   |
| 第二号を除き、令第百二十九条の二第一項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | いない場合にあっては   |
| 十九条の二第一項の規<br>定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。   |     |     |        |            | 令第百二十四条第一項   |
| 定が適用され、かつ全館<br>避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。   |     |     |        |            | 第二号を除き、令第百二  |
| 避難安全性能に影響を<br>及ぼす修繕等が行われ<br>ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。  |     |     |        |            | 十九条の二第一項の規   |
| 及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 定が適用され、かつ全館  |
| ていない場合にあって<br>は令第百二十四条第一<br>項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。  |     |     |        |            | 避難安全性能に影響を   |
| は令第百二十四条第一項並びに第百二十五条第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 及ぼす修繕等が行われ   |
| 項並びに第百二十五条<br>第一項及び第三項を除<br>く。)の規定に適合しな<br>いこと。  |     |     |        |            | ていない場合にあって   |
| 第一項及び第三項を除く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | は令第百二十四条第一   |
| く。)の規定に適合しないこと。  |     |     |        |            | 項並びに第百二十五条   |
| いこと。   |     |     |        |            | 第一項及び第三項を除   |
|  |     |     |        |            | く。)の規定に適合しな  |
| (五) 物品の放置の 目視により確認する。 物品が放置されている   |     |     |        |            | いこと。         |
|  | (五) |     | 物品の放置の | 目視により確認する。 | 物品が放置されている   |

|            |      |      | A INOTE        |             | としたとい言称の問問            |
|------------|------|------|----------------|-------------|-----------------------|
|            |      |      | 状況             |             | ことにより扉等の開閉            |
|            |      |      |                |             | に支障があること。             |
| (六)        | 屋上広場 |      | 屋上広場の確         | 目視により確認する。  | 令第百二十六条の規定            |
|            |      |      | 保の状況           |             | に適合しないこと。             |
| (七)        | 避難上有 | 効なバル | 避難上有効な         | 目視及び設計図書等に  | 令第百二十一条の規定            |
|            | コニー  |      | バルコニーの         | より確認する。     | に適合しないこと。             |
|            |      |      | 確保の状況          |             |                       |
| (八)        |      |      | 手すり等の劣         | 目視及びテストハンマ  | 著しい錆又は腐食があ            |
|            |      |      | 化及び損傷の         | ーによる打診等により  | ること。                  |
|            |      |      | 状況             | 確認する。       |                       |
| (九)        |      |      | 物品の放置の         | 目視により確認する。  | 避難に支障となる物品            |
|            |      |      | 状況             |             | が放置されていること。           |
| (十)        |      |      | 避難器具の操         | 目視及び作動により確  | 避難ハッチが開閉でき            |
|            |      |      | 作性の確保の         | 認する。        | ないこと又は避難器具            |
|            |      |      | 状況             |             | が使用できないこと。            |
| (+         | 階段   | 階段   | 直通階段の設         | 目視及び設計図書等に  | 令第百二十条、第百二十           |
| <u></u> —) |      |      | 置の状況           | より確認する。     | 一条又は第百二十二条            |
|            |      |      |                |             | (令第百二十九条第一            |
|            |      |      |                |             | 項の規定が適用され、カ           |
|            |      |      |                |             | つ階避難安全性能に影            |
|            |      |      |                |             | 響を及ぼす修繕等が行            |
|            |      |      |                |             | われていない場合又は            |
|            |      |      |                |             | 令第百二十九条の二第            |
|            |      |      |                |             | 一項の規定が適用され、           |
|            |      |      |                |             | かつ、全館避難安全性能           |
|            |      |      |                |             | に影響を及ぼす修繕等            |
|            |      |      |                |             | が行われていない場合            |
|            |      |      |                |             | にあっては、令第百二+           |
|            |      |      |                |             | 条を除く。)の規定に適           |
|            |      |      |                |             | 合しないこと。               |
| (十         |      |      | <b>ボッル</b> 旧の仏 | 記卦回妻学により 確認 | ——————<br>令第二十三条、第二十四 |

| 1  | )<br> |     |        |            |             |
|----|-------|-----|--------|------------|-------------|
| 二) |       |     | 況      | し又は鋼製巻尺等によ | 条又は第百二十四条(令 |
|    |       |     |        | り測定する。     | 第百二十九条第一項の  |
|    |       |     |        |            | 規定が適用され、かつ階 |
|    |       |     |        |            | 避難安全性能に影響を  |
|    |       |     |        |            | 及ぼす修繕等が行われ  |
|    |       |     |        |            | ていない場合にあって  |
|    |       |     |        |            | は令第百二十四条第一  |
|    |       |     |        |            | 項第二号を除き、令第百 |
|    |       |     |        |            | 二十九条の二第一項の  |
|    |       |     |        |            | 規定が適用され、かつ全 |
|    |       |     |        |            | 館避難安全性能に影響  |
|    |       |     |        |            | を及ぼす修繕等が行わ  |
|    |       |     |        |            | れていない場合にあっ  |
|    |       |     |        |            | ては令第百二十四条第  |
|    |       |     |        |            | 一項を除く。)の規定に |
|    |       |     |        |            | 適合しないこと。    |
| (+ |       |     | 手すりの設置 | 目視により確認する。 | 令第二十五条の規定に  |
| 三) |       |     | の状況    |            | 適合しないこと。    |
| (+ |       |     | 物品の放置の | 目視により確認する。 | 通行に支障となる物品  |
| 四) |       |     | 状況     |            | が放置されていること。 |
| (+ |       |     | 階段各部の劣 | 目視、触診、設計図書 | モルタル等の仕上げ材  |
| 五) |       |     | 化及び損傷の | 等により確認する。  | にひび割れがあること、 |
|    |       |     | 状況     |            | 鋼材に錆又は腐食があ  |
|    |       |     |        |            | ること、木材に腐朽、損 |
|    |       |     |        |            | 傷又は虫害があること、 |
|    |       |     |        |            | 防水層に損傷があるこ  |
|    |       |     |        |            | と等により安全上支障  |
|    |       |     |        |            | が生ずるおそれがある  |
|    |       |     |        |            | こと又は安全上支障が  |
|    |       |     |        |            | 生じていること。    |
| (+ |       | 屋内に | 階段室の構造 | 目視及び設計図書等に | 令第百二十三条第一項  |

| 大) 設けら の状況 より確認する。 (令第百二十九条の<br>第一項の規定が適用<br>難階段   | 生 善 易 み 規           |
|--|---------------------|
| 難階段 れ、かつ全館避難安能に影響を及ぼす修等が行われていない合にあっては第一号び第六号を除く。)定に適合しないこと (十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に 令第百二十三条第二七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二           | 性善易を規               |
| 能に影響を及ぼす修<br>等が行われていない<br>合にあっては第一号<br>び第六号を除く。)<br>定に適合しないこと<br>(十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に 令第百二十三条第二<br>七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二 | 善易を規                |
| 等が行われていない<br>合にあっては第一号<br>び第六号を除く。)<br>定に適合しないこと<br>(十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に 令第百二十三条第二<br>七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二              | <b>湯</b><br>及<br>)規 |
| 合にあっては第一号<br>び第六号を除く。)<br>定に適合しないこと<br>(十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に 令第百二十三条第二<br>七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二                           | )規                  |
| び第六号を除く。)<br>定に適合しないこと<br>(十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に令第百二十三条第二<br>七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二   | 規                   |
| 定に適合しないこと (十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に令第百二十三条第二 七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二  |                     |
| (十 屋外に 屋内と階段と 目視及び設計図書等に 令第百二十三条第二<br>七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二  | <u>-</u>            |
| 七) 設けら の間の防火区 より確認する。 (第百二十九条の二  | 5                   |
|  | 灵                   |
| れた避 画の確保の状 一項の規定が適用さ   | <b></b>             |
|  | ι,                  |
| 難階段 況 かつ全館避難安全性  | نکلا                |
| に影響を及ぼす修繕  | 至于                  |
| が行われていない場  | 7                   |
| にあっては第二項第  | <u>-</u>            |
| 号を除く。)の規定  | .適                  |
| 合しないこと。  |                     |
| (十 開放性の確保 目視及び設計図書等に開放性が阻害されて  | `                   |
| 八) の状況 より確認する。 ること。  |                     |
| (十 特別避 令第百二十三 設計図書等により特別 令第百二十三条第三   | 頁                   |
| 九) 難階段 条第三項第一 避難階段の位置及びバ (令第百二十九条第   | <u> </u>            |
| 号に規定する ルコニー又は付室の構 項の規定が適用され  | か                   |
| バルコニー (以造を確認する。 つ階避難安全性能に  | 乡                   |
| 下単に「バルコ響を及ぼす修繕等が   | 亍                   |
| ニー」という。) われていない場合に   | う                   |
| 又は付室(以下 っては第一号、第二  | <del>를</del> 、      |
| 単に「付室」と 第十号(屋内からバ  | ノコ                  |
| いう。)の構造 ニー又は付室に通ず  | ó                   |
| 及び面積の確出入口に係る部分に  | 艮                   |
| 保の状況 る。)及び第十二号   | ·除                  |
| き、令第百二十九条  |                     |

| 1 |            | г    |         |            |                |             |
|---|------------|------|---------|------------|----------------|-------------|
|   |            |      |         |            |                | 第一項の規定が適用さ  |
|   |            |      |         |            |                | れ、かつ全館避難安全性 |
|   |            |      |         |            |                | 能に影響を及ぼす修繕  |
|   |            |      |         |            |                | 等が行われていない場  |
|   |            |      |         |            |                | 合にあっては第一号か  |
|   |            |      |         |            |                | ら第三号まで、第十号及 |
|   |            |      |         |            |                | び第十二号を除く。)の |
|   |            |      |         |            |                | 規定に適合しないこと。 |
|   | ( <u> </u> |      |         | 階段室又は付     | 目視及び設計図書等に     | 排煙設備が設置されて  |
|   | +)         |      |         | 室(以下「付室    | より確認する。        | いないこと。      |
|   |            |      |         | 等」という。)    |                |             |
|   |            |      |         | の排煙設備の     |                |             |
|   |            |      |         | 設置の状況      |                |             |
|   | (二十        |      |         | 付室等の排煙     | 各階の主要な排煙設備     | 排煙設備が作動しない  |
|   | <u> </u>   |      |         | 設備の作動の     | の作動を確認する。た     | こと。         |
|   |            |      |         | 状況         | だし、三年以内に実施     |             |
|   |            |      |         |            | した定期検査の記録が     |             |
|   |            |      |         |            | ある場合にあっては、     |             |
|   |            |      |         |            | 当該記録により確認す     |             |
|   |            |      |         |            | ることで足りる。       |             |
|   | (二十        |      |         | <br>付室等の外気 | 目視及び作動により確     | 外気に向かつて開くこ  |
|   | <u> </u>   |      |         | に向かつて開     | 認する。           | とができる窓が開閉し  |
|   |            |      |         | くことができ     |                | ないこと又は物品によ  |
|   |            |      |         | る窓の状況      |                | り排煙に支障があるこ  |
|   |            |      |         |            |                | と。          |
|   | (二十        |      |         | <br>物品の放置の | <br>目視により確認する。 | バルコニー又は付室に  |
|   | 三)         |      |         | 状況         |                | 物品が放置されている  |
|   |            |      |         |            |                | こと。         |
|   | (二十排)      | 型設 『 | <br>坊煙壁 | <br>防煙区画の設 |                | 令第百二十六条の三の  |
|   | 四)備等       |      |         |            |                | 規定に適合しないこと。 |
|   | E ENVI     |      |         | - VVDU     | , 🕶 0          | ただし、令第百二十八条 |
|   |            |      |         |            |                |             |

|       |   |     |        |                | の六第一項の規定が適  |
|-------|---|-----|--------|----------------|-------------|
|       |   |     |        |                | 用され、かつ区画避難安 |
|       |   |     |        |                | 全性能に影響を及ぼす  |
|       |   |     |        |                | 修繕等が行われていな  |
|       |   |     |        |                | い場合、令第百二十九条 |
|       |   |     |        |                | 第一項の規定が適用さ  |
|       |   |     |        |                | れ、かつ階避難安全性能 |
|       |   |     |        |                | に影響を及ぼす修繕等  |
|       |   |     |        |                | が行われていない場合  |
|       |   |     |        |                | 又は令第百二十九条の  |
|       |   |     |        |                | 二第一項の規定が適用  |
|       |   |     |        |                | され、かつ全館避難安全 |
|       |   |     |        |                | 性能に影響を及ぼす修  |
|       |   |     |        |                | 繕等が行われていない  |
|       |   |     |        |                | 場合を除く。      |
| (二+   |   |     | 防煙壁の劣化 | 目視により確認する。     | 防煙壁にき裂、破損、変 |
| 五)    |   |     | 及び損傷の状 |                | 形等があること。    |
|       |   |     | 況      |                |             |
| (二+   |   |     | 可動式防煙壁 | 各階の主要な可動式防     | 可動式防煙壁が作動し  |
| 六)    |   |     | の作動の状況 | 煙壁の作動を確認す      | ないこと。       |
|       |   |     |        | る。ただし、三年以内     |             |
|       |   |     |        | に実施した定期検査の     |             |
|       |   |     |        | <br>記録がある場合にあっ |             |
|       |   |     |        | ては、当該記録により     |             |
|       |   |     |        | 確認することで足り      |             |
|       |   |     |        | る。             |             |
| (二+   |   | 排煙設 | 排煙設備の設 | 目視及び設計図書等に     | 令第百二十六条の二の  |
| 七)    |   | 備   | 置の状況   | より確認する。        | 規定に適合しないこと。 |
|       |   |     |        |                | ただし、令第百二十八条 |
|       |   |     |        |                | の六第一項の規定が適  |
|       |   |     |        |                | 用され、かつ区画避難安 |
| <br>• | _ |     |        |                |             |

|            |     |     | -      |            |             |
|------------|-----|-----|--------|------------|-------------|
|            |     |     |        |            | 全性能に影響を及ぼす  |
|            |     |     |        |            | 修繕等が行われていな  |
|            |     |     |        |            | い場合、令第百二十九条 |
|            |     |     |        |            | 第一項の規定が適用さ  |
|            |     |     |        |            | れ、かつ階避難安全性能 |
|            |     |     |        |            | に影響を及ぼす修繕等  |
|            |     |     |        |            | が行われていない場合  |
|            |     |     |        |            | 又は令第百二十九条の  |
|            |     |     |        |            | 二第一項の規定が適用  |
|            |     |     |        |            | され、かつ全館避難安全 |
|            |     |     |        |            | 性能に影響を及ぼす修  |
|            |     |     |        |            | 繕等が行われていない  |
|            |     |     |        |            | 場合を除く。      |
| (          | +   |     | 排煙設備の作 | 各階の主要な排煙設備 | 排煙設備が作動しない  |
| 八)         |     |     | 動の状況   | の作動を確認する。た | こと。         |
|            |     |     |        | だし、三年以内に実施 |             |
|            |     |     |        | した定期検査の記録が |             |
|            |     |     |        | ある場合にあっては、 |             |
|            |     |     |        | 当該記録により確認す |             |
|            |     |     |        | ることで足りる。   |             |
| (          | +   |     | 排煙口の維持 | 目視により確認すると | 排煙口が開閉しないこ  |
| 九)         |     |     | 保全の状況  | ともに、開閉を確認す | と又は物品により排煙  |
|            |     |     |        | る。         | に支障があること。   |
| (三         | その他 | 非常用 | 非常用の進入 | 目視及び設計図書等に | 令第百二十六条の六又  |
| +)         | の設備 | の進入 | 口等の設置の | より確認する。    | は第百二十六条の七の  |
|            | 等   | 口等  | 状況     |            | 規定に適合しないこと。 |
| (三         | +   |     | 非常用の進入 | 目視により確認する。 | 物品が放置され進入に  |
| <u></u> —) |     |     | 口等の維持保 |            | 支障があること。    |
|            |     |     | 全の状況   |            |             |
| (三         | +   | 非常用 | 令第百二十九 | 目視及び設計図書等に | 令第百二十九条の十三  |
| <u> </u>   |     | エレベ | 条の十三の三 | より確認する。    | の三第三項の規定に適  |

|     | ーター | 第三項に規定   |            | 合しないこと。    |
|-----|-----|----------|------------|------------|
|     |     | する乗降ロビ   |            |            |
|     |     | ー(以下単に   |            |            |
|     |     | 「乗降ロビー」  |            |            |
|     |     | という。) の構 |            |            |
|     |     | 造及び面積の   |            |            |
|     |     | 確保の状況    |            |            |
| (三十 |     | 昇降路又は乗   | 目視及び設計図書等に | 排煙設備が設置されて |
| 三)  |     | 降ロビー (以下 | より確認する。    | いないこと。     |
|     |     | 「乗降ロビー   |            |            |
|     |     | 等」という。)  |            |            |
|     |     | の排煙設備の   |            |            |
|     |     | 設置の状況    |            |            |
| (三十 |     | 乗降ロビー等   | 各階の主要な排煙設備 | 排煙設備が作動しない |
| 四)  |     | の排煙設備の   | の作動を確認する。た | こと。        |
|     |     | 作動の状況    | だし、三年以内に実施 |            |
|     |     |          | した定期検査の記録が |            |
|     |     |          | ある場合にあっては、 |            |
|     |     |          | 当該記録により確認す |            |
|     |     |          | ることで足りる。   |            |
| (三十 |     | 乗降ロビー等   | 目視により確認すると | 外気に向かつて開くこ |
| 五)  |     | の外気に向か   | ともに、開閉を確認す | とができる窓が開閉し |
|     |     | つて開くこと   | る。         | ないこと又は物品によ |
|     |     | ができる窓の   |            | り排煙に支障があるこ |
|     |     | 状況       |            | と。         |
| (三十 |     | 物品の放置の   | 目視により確認する。 | 乗降ロビーに物品が放 |
| 六)  |     | 状況       |            | 置されていること。  |
| (三十 |     | 非常用エレベ   | 非常用エレベーターの | 非常用エレベーターが |
| 七)  |     | ーターの作動   | 作動を確認する。ただ | 作動しないこと。   |
|     |     | の状況      | し、三年以内に実施し |            |
|     |     |          | た定期検査の記録があ |            |

| i |             | 1   | ı    |        | T          |             |
|---|-------------|-----|------|--------|------------|-------------|
|   |             |     |      |        | る場合にあっては、当 |             |
|   |             |     |      |        | 該記録により確認する |             |
|   |             |     |      |        | ことで足りる。    |             |
|   | (三十         |     | 非常用  | 非常用の照明 | 目視及び設計図書等に | 令第百二十六条の四の  |
|   | 八)          |     | の照明  | 装置の設置の | より確認する。    | 規定に適合しないこと。 |
|   |             |     | 装置   | 状況     |            |             |
|   | (三十         |     |      | 非常用の照明 | 各階の主要な非常用の | 非常用の照明装置が作  |
|   | 九)          |     |      | 装置の作動の | 照明装置の作動を確認 | 動しないこと。     |
|   |             |     |      | 状況     | する。ただし、三年以 |             |
|   |             |     |      |        | 内に実施した定期検査 |             |
|   |             |     |      |        | の記録がある場合にあ |             |
|   |             |     |      |        | っては、当該記録によ |             |
|   |             |     |      |        | り確認することで足り |             |
|   |             |     |      |        | る。         |             |
|   | (四          |     |      | 照明の妨げと | 目視により確認する。 | 照明の妨げとなる物品  |
|   | +)          |     |      | なる物品の放 |            | が放置されていること。 |
|   |             |     |      | 置の状況   |            |             |
| 六 | ()          | 特殊な | 膜構造  | 膜体及び取付 | 必要に応じて双眼鏡等 | 膜体に破れ、雨水貯留、 |
| そ |             | 構造等 | 建築物  | 部材の劣化及 | を使用し目視により確 | 接合部の剥がれ等があ  |
| の |             |     | の膜体、 | び損傷の状況 | 認する。ただし、三年 | ること。        |
| 他 |             |     | 取付部  |        | 以内に実施した点検の |             |
|   |             |     | 材等   |        | 記録がある場合にあっ |             |
|   |             |     |      |        | ては、当該記録により |             |
|   |             |     |      |        | 確認することで足り  |             |
|   |             |     |      |        | る。         |             |
|   | ( <u></u> ) |     |      | 膜張力及びケ | 必要に応じて双眼鏡等 | 膜張力又はケーブル張  |
|   |             |     |      | ーブル張力の | を使用し目視により確 | 力が低下していること。 |
|   |             |     |      | 状況     | 認する。ただし、三年 |             |
|   |             |     |      |        | 以内に実施した点検の |             |
|   |             |     |      |        | 記録がある場合にあっ |             |
|   |             |     |      |        | ては、当該記録により |             |
|   |             | _   |      |        |            |             |

|     | 7    | İ      |          |            |                           |
|-----|------|--------|----------|------------|---------------------------|
|     |      |        |          | 確認することで足り  |                           |
|     |      |        |          | る。         |                           |
| (三) |      | 免震構    | 免震装置の劣   | 目視により確認すると | 鋼材部分に著しい錆、腐               |
|     |      | 造建築    | 化及び損傷の   | ともに、三年以内に実 | 食等があること。                  |
|     |      | 物の免    | 状況 (免震装置 | 施した点検の記録があ |                           |
|     |      | 震層及    | が可視状態に   | る場合にあっては、当 |                           |
|     |      | び免震    | ある場合に限   | 該記録により確認す  |                           |
|     |      | 装置     | る。)      | る。         |                           |
| (四) |      |        | 上部構造の可   | 目視により確認する。 | 上部構造の水平移動に                |
|     |      |        | 動の状況     | ただし、三年以内に実 | 支障がある状態となっ                |
|     |      |        |          | 施した点検の記録があ | ていること又は障害物                |
|     |      |        |          | る場合にあっては、当 | があること。                    |
|     |      |        |          | 該記録により確認する |                           |
|     |      |        |          | ことで足りる。    |                           |
| (五) | 避雷設備 |        | 避雷針、避雷導  | 必要に応じて双眼鏡等 | 避雷針又は避雷導線が                |
|     |      |        | 線等の劣化及   | を使用し目視により確 | 腐食、破損又は破断して               |
|     |      |        | び損傷の状況   | 認する。       | いること。                     |
| (六) | 煙突   | 建築物    | 煙突本体及び   | 必要に応じて双眼鏡等 | 煙突本体及び建築物と                |
|     |      | に設け    | 建築物との接   | を使用し目視により確 | の接合部に著しいひび                |
|     |      | る煙突    | 合部の劣化及   | 認する。       | 割れ、肌分かれ等がある               |
|     |      |        | び損傷の状況   |            | こと。                       |
| (七) |      |        | 付帯金物の劣   | 必要に応じて双眼鏡等 | 付帯金物に著しい錆、腐               |
|     |      |        | 化及び損傷の   | を使用し目視により確 | 食等があること。                  |
|     |      |        | 状況       | 認する。       |                           |
| (八) |      | 令第百    | 煙突本体の劣   | 必要に応じて双眼鏡等 | 煙突本体に鉄筋露出若                |
|     |      |        |          |            |                           |
|     |      | 三十八    | 化及び損傷の   | を使用し目視により確 | しくは腐食又は著しい                |
|     |      |        |          |            | しくは腐食又は著しい<br>錆、錆汁、ひび割れ、欠 |
|     |      |        |          | 認する。       |                           |
|     |      | 条第一    |          | 認する。       | <br>錆、錆汁、ひび割れ、欠<br>       |
|     |      | 条第一項第一 |          | 認する。       | <br>錆、錆汁、ひび割れ、欠<br>       |

| (九) |  | 付帯金物の劣 | 必要に応じて双眼鏡等 | アンカーボルト等に著  |
|-----|--|--------|------------|-------------|
|     |  | 化及び損傷の | を使用し目視により確 | しい錆、腐食、緊結不良 |
|     |  | 状況     | 認する。       | 等があること。     |

## 別表第二

|    |             |      | (い)調   | 查項目      | (ろ)調査方法  | (は)判定基準   |
|----|-------------|------|--------|----------|----------|-----------|
| _  | ()          | 令第百  | 竪穴区画の  | )状況      | 設計図書等により | 令第百十二条第十  |
| 建築 |             | 十二条  |        |          | 確認する。    | 一項の規定に適合  |
| 物の |             | 第十一  |        |          |          | しないこと。ただ  |
| 内部 |             | 項に規  |        |          |          | し、令第百二十九条 |
|    |             | 定する  |        |          |          | の二第一項の規定  |
|    |             | 区画(以 |        |          |          | が適用され、かつ全 |
|    |             | 下「竪穴 |        |          |          | 館避難安全性能に  |
|    |             | 区画」と |        |          |          | 影響を及ぼす修繕  |
|    |             | いう。) |        |          |          | 等が行われていな  |
|    |             |      |        |          |          | い場合を除く。   |
|    | ( <u></u> ) |      | 竪穴区画   | 令第百十二条第十 | 設計図書等により | 令第百十二条第十  |
|    |             |      | の外周部   | 六項に規定する外 | 確認する。    | 六項又は第十七項  |
|    |             |      |        | 壁等及び同条第十 |          | の規定に適合しな  |
|    |             |      |        | 七項に規定する防 |          | いこと。      |
|    |             |      |        | 火設備の処置の状 |          |           |
|    |             |      |        | 況        |          |           |
|    | (三)         |      |        | 令第百十二条第十 | 目視により確認す | 令第百十二条第十  |
|    |             |      |        | 六項に規定する外 | る。       | 六項に規定する外  |
|    |             |      |        | 壁等及び同条第十 |          | 壁等、同条第十七項 |
|    |             |      |        | 七項に規定する防 |          | に規定する防火設  |
|    |             |      |        | 火設備の劣化及び |          | 備に損傷があるこ  |
|    |             |      |        | 損傷の状況    |          | と。        |
|    | (四)         | 準耐火構 | 造の壁 (竪 | 準耐火性能の確保 | 設計図書等により | 令第百七条の二の  |
|    |             | 穴区画を | 構成する   | の状況      | 確認する。    | 規定に適合しない  |
|    |             | 壁に限る | 。)     |          |          | こと。       |
|    | (五)         |      |        | 部材の劣化及び損 | 目視により確認す | 各部材及び接合部  |

|           |            | 傷の状況      | る。              | に穴又は破損があ |
|-----------|------------|-----------|-----------------|----------|
|           |            |           |                 | ること。     |
| (六)       | _          |           | ├──<br>設計図書等により | 耐火被覆の剥がれ |
|           |            | 劣化及び損傷の状  | <br>確認し、修繕等が行   | 等により鉄骨が露 |
|           |            | l<br>況    | <br>われ、かつ、点検口   | 出していること。 |
|           |            |           | 等がある場合にあ        |          |
|           |            |           | っては、点検口等か       |          |
|           |            |           | ら目視により確認        |          |
|           |            |           | する。             |          |
| (七)       |            | 給水管、配電管その | 設計図書等により        | 令第百十二条第二 |
|           |            | 他の管又は風道の  | 確認し、修繕等が行       | 十項若しくは第二 |
|           |            | 区画貫通部の充填  | われ、かつ、点検口       | 十一項又は第百二 |
|           |            | 等の処理の状況   | 等がある場合にあ        | 十九条の二の四の |
|           |            |           | っては、点検口等か       | 規定に適合しない |
|           |            |           | ら目視により確認        | こと。      |
|           |            |           | する。             |          |
| (八)       | 準耐火構造の床 (竪 | 準耐火性能の確保  | 設計図書等により        | 令第百七条の二の |
|           | 穴区画を構成する   | の状況       | 確認する。           | 規定に適合しない |
|           | 床に限る。)     |           |                 | こと。      |
| (九)       |            | 部材の劣化及び損  | 目視により確認す        | 各部材及び接合部 |
|           |            | 傷の状況      | る。              | に穴又は破損があ |
|           |            |           |                 | ること。     |
| (十)       |            | 給水管、配電管その | 設計図書等により        | 令第百十二条第二 |
|           |            | 他の管又は風道の  | 確認し、修繕等が行       | 十項若しくは第二 |
|           |            | 区画貫通部の充填  | われ、かつ、点検口       | 十一項又は第百二 |
|           |            | 等の処理の状況   | 等がある場合にあ        | 十九条の二の四の |
|           |            |           | っては、点検口等か       | 規定に適合しない |
|           |            |           | ら目視により確認        | こと。      |
|           |            |           | する。             |          |
| (+        | 防火設備 (竪穴区画 | 区画に対応した防  | 目視及び設計図書        | 令第百十二条第十 |
| <u></u> ) | を構成する防火設   | 火設備の設置の状  | 等により確認する。       | 九項の規定に適合 |

|    | 備に限る。以下同 | 況         |            | しないこと。   |
|----|----------|-----------|------------|----------|
|    | じ。)      |           |            |          |
| (+ |          | 居室から地上へ通  | 目視及び設計図書   | 令第百十二条第十 |
| 三) |          | じる主たる廊下、階 | 等により確認する。  | 九項の規定に適合 |
|    |          | 段その他の通路に  |            | しないこと。   |
|    |          | 設置された防火設  |            |          |
|    |          | 備におけるくぐり  |            |          |
|    |          | 戸の設置の状況   |            |          |
| (+ |          | 昭和四十八年建設  | 常時閉鎖した状態   | 昭和四十八年建設 |
| 三) |          | 省告示第二千五百  | にある防火扉 (以下 | 省告示第二千五百 |
|    |          | 六十三号第一第一  | 「常閉防火扉」とい  | 六十三号第一第一 |
|    |          | 号口に規定する基  | う。)にあっては、  | 号ロの規定に適合 |
|    |          | 準についての適合  | 各階の主要な常閉   | しないこと。   |
|    |          | の状況       | 防火扉の閉鎖時間   |          |
|    |          |           | をストップウォッ   |          |
|    |          |           | チ等により測定し、  |          |
|    |          |           | 扉の重量により運   |          |
|    |          |           | 動エネルギーを確   |          |
|    |          |           | 認するとともに、必  |          |
|    |          |           | 要に応じて閉鎖す   |          |
|    |          |           | る力をテンション   |          |
|    |          |           | ゲージ等により測   |          |
|    |          |           | 定する。ただし、三  |          |
|    |          |           | 年以内に実施した   |          |
|    |          |           | 点検の記録がある   |          |
|    |          |           | 場合にあっては、当  |          |
|    |          |           | 該記録により確認   |          |
|    | _        |           | することで足りる。  |          |
| (+ |          |           | 目視により確認す   | 常閉防火設備の変 |
| 四) |          | した状態にある防  | る。         | 形又は損傷により |
|    |          | 火設備(以下「常閉 |            | 遮炎性能又は遮煙 |

|                                | ルムカラーでなってフ   |
|--------------------------------|--------------|
| 防火設備」という。)                     | 性能に支障がある     |
| の本体と枠の劣化                       | こと。          |
| 及び損傷の状況                        |              |
| (十 常閉防火設備の閉 各階の主要な             | 常閉常閉防火設備が閉   |
| 五) 鎖又は作動の状況 防火設備の閉             | 閉鎖又 鎖又は作動しない |
| は作動を確認                         | 思する。こと。      |
| ただし、三年                         | 以内に          |
| 実施した点検                         | 食の記          |
| 録がある場合                         | うにあ          |
| っては、当該                         | 記録に          |
| より確認する                         | らこと          |
| で足りる。                          |              |
| (十 常閉防火設備の閉 目視により確             | 確認す 物品が放置されて |
| 六) 鎖又は作動の障害 る。                 | いることにより常     |
| となる物品の放置                       | 閉防火設備の閉鎖     |
| の状況                            | 又は作動に支障が     |
|                                | あること。        |
| (十 常閉防火扉の固定 目視により確             | 確認す 常閉防火扉が開放 |
| 七)の状況る。                        | 状態に固定されて     |
|                                | いること。        |
| (十 照明器具、懸垂物等防火設備の閉鎖の 目視により確    | 室認す 防火設備の閉鎖に |
| 八) 障害となる照明器 る。                 | 支障があること。     |
| 具、懸垂物等の状況                      |              |
| 二 (一) 令第百二十条第二 令第百二十条第二 設計図書等に | こより 令第百二十条又は |
| 避難 項に規定する通路 項に規定する通路 確認する。     | 第百二十一条(令第    |
| 施設の確保の状況                       | 百二十九条第一項     |
|                                | の規定が適用され、    |
|                                | かつ階避難安全性     |
|                                | 能に影響を及ぼす     |
|                                | 修繕等が行われて     |
|                                | いない場合又は令     |

| 1 |            | I        |          | <u> </u>  | <u> </u>             |
|---|------------|----------|----------|-----------|----------------------|
|   |            |          |          |           | 第百二十九条の二             |
|   |            |          |          |           | 第一項の規定が適             |
|   |            |          |          |           | 用され、かつ全館避            |
|   |            |          |          |           | 難安全性能に影響             |
|   |            |          |          |           | を及ぼす修繕等が             |
|   |            |          |          |           | 行われていない場             |
|   |            |          |          |           | 合にあっては、令第            |
|   |            |          |          |           | 百二十条を除く。)            |
|   |            |          |          |           | の規定に適合しな             |
|   |            |          |          |           | いこと。                 |
| ŀ | ( <u> </u> | 避難上有効なバル | 避難上有効なバル | 目視及び設計図書  | 令第百二十一条の             |
|   |            | コニー      | コニーの確保の状 | 等により確認する。 | 規定に適合しない             |
|   |            |          | 況        |           | こと。                  |
|   | (三)        |          | 手すり等の劣化及 | 目視及びテストハ  | 著しい錆又は腐食             |
|   |            |          | び損傷の状況   | ンマーによる打診  | があること。               |
|   |            |          |          | 等により確認する。 |                      |
|   | (四)        |          | 物品の放置の状況 | 目視により確認す  | 避難に支障となる             |
|   |            |          |          | る。        | 物品が放置されて             |
|   |            |          |          |           | いること。                |
|   | (五)        |          | 避難器具の操作性 | 目視及び作動によ  | 避難ハッチが開閉             |
|   |            |          | の確保の状況   | り確認する。    | できないこと又は             |
|   |            |          |          |           | 避難器具が使用で             |
|   |            |          |          |           | きないこと。               |
|   | (六)        | 直通階段     | 直通階段の設置の | 目視及び設計図書  | 令第百二十条又は             |
|   |            |          | 状況       | 等により確認する。 | 第百二十一条(令第            |
|   |            |          |          |           | 百二十九条第一項             |
|   |            |          |          |           | の規定が適用され、            |
|   |            |          |          |           | かつ階避難安全性             |
|   |            |          |          |           |                      |
|   |            |          |          |           | 能に影響を及ぼす             |
|   |            |          |          |           | 能に影響を及ぼす<br>修繕等が行われて |

|     |          |           | 第百二十九条の二  |
|-----|----------|-----------|-----------|
|     |          |           | 第一項の規定が適  |
|     |          |           | 用され、かつ、全館 |
|     |          |           | 避難安全性能に影  |
|     |          |           | 響を及ぼす修繕等  |
|     |          |           | が行われていない  |
|     |          |           | 場合にあっては、令 |
|     |          |           | 第百二十条を除   |
|     |          |           | く。)の規定に適合 |
|     |          |           | しないこと。    |
| (七) | 幅の確保の状況  | 設計図書等により  | 令第二十三条又は  |
|     |          | 確認し又は鋼製巻  | 第二十四条の規定  |
|     |          | 尺等により測定す  | に適合しないこと。 |
|     |          | る。        |           |
| (八) | 手すりの設置の状 | 目視により確認す  | 令第二十五条の規  |
|     | 況        | る。        | 定に適合しないこ  |
|     |          |           | と。        |
| (九) | 物品の放置の状況 | 目視により確認す  | 通行に支障となる  |
|     |          | る。        | 物品が放置されて  |
|     |          |           | いること。     |
| (十) | 階段各部の劣化及 | 目視、触診、設計図 | モルタル等の仕上  |
|     | び損傷の状況   | 書等により確認す  | げ材にひび割れが  |
|     |          | る。        | あること、鋼材に錆 |
|     |          |           | 又は腐食があるこ  |
|     |          |           | と、木材に腐朽、損 |
|     |          |           | 傷又は虫害がある  |
|     |          |           | こと、防水層に損傷 |
|     |          |           | があること等によ  |
|     |          |           | り安全上支障が生  |
|     |          |           | ずるおそれがある  |
|     |          |           | こと又は安全上支  |

|  |  | 障が生じているこ |
|--|--|----------|
|  |  | と。       |

# 別記第一号(A4)

## 調査結果表

| *****  |           | 氏 名 | 調查者番号 |
|--------|-----------|-----|-------|
| 温度性を指  | 代表となる調査者  |     |       |
| 学者 した前 | その他の調本者   |     |       |
|        | しっと回った関重し |     |       |

|                              | _                                       |  |  | _        | F 7 13   |          |           |
|------------------------------|---|--|--|----------|--|----------|-----------|
|                              | l                                       |  |  | ⊢—       | 黄金桔  | Ł        | 担当        |
| 青号                           |   | 1  | 月金 項 目   | 掛摘       | 要是正  | 辰 存      | <b>明主</b> |
|                              | l                                       |  |  | なし       | l  | 不適格      | 青号        |
| 1                            | 敷地2                                     | び地盤  |  |          |  |          |           |
| (1)                          | 地盤                                      |  | 地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況  |          |  |          |           |
| (2)                          | 敷地                                      |  | 敷地内の排水の状況  |          |  |          |           |
| (3)                          | 敷地内                                     | 内の通路   | 敷地内の通路の確保の状況   |          |  |          |           |
| (4)                          | 1                                       |  | 有効幅員の確保の状況   |          | _  |          | _         |
| (5)                          | 100                                     |  | 敷地内の通路の支障物の状況  | <u> </u> | -  |          | <u> </u>  |
| (6)                          | 塀                                       |  | 組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等<br>の耐震対策の状況  | l        | l  | l        |           |
| (7)                          | 1                                       |  | 組織造の塀又は補強コンクリートプロック造の塀等  | -        | _  |          | -         |
| 117                          | l                                       |  | の劣化及び損傷の状況   | l        | l  | l        |           |
| (8)                          | 操壁                                      |  | 揮璧の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (9)                          | 1                                       |  | 揮璧の水抜きパイプの維持保全の状況  |          |  |          |           |
| 2                            | 建装物                                     | の外部  |  |          |  |          |           |
| (1)                          | 基礎                                      |  | 基礎の沈下等の状況  |          |  |          |           |
| (2)                          | <u> </u>                                |  | 基礎の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (3)                          | 土台                                      | (木造に限る。)   | 土台の沈下等の状況  |          |  |          |           |
| (4)                          | _                                       |  | 土台の劣化及び損傷の状況   |          | -  |          | _         |
| (5)                          | 外壁                                      | 躯体等  | 外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある  |          |  |          |           |
| (6)                          | 産                                       |  | <ul><li>部分の防火対策の状況</li><li>木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況</li></ul>   | $\vdash$ | _  |          | <b>—</b>  |
| (7)                          | 1                                       |  | 末近の外壁躯体の劣化及い損傷の状況<br>組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況  | $\vdash$ | _  |          | -         |
| (8)                          | 1                                       |  | 福龍コンクリートプロック造の外壁躯体の劣化及び  | $\vdash$ |  |          |           |
| (0)                          |   |  | 情傷の状況  | l        | 1  |          |           |
| (9)                          | 1                                       |  | 鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (10)                         | 1                                       |  | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の  |          |  |          |           |
|                              |   |  | 外壁躯体の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (11)                         | 1                                       | 外装仕上げ材等  | タイル、石貼り等(乾式工法によるものを除   |          |  |          |           |
|                              | 1                                       |  | く。)、モルタル等の劣化及び損傷の状況  |          | -  |          | _         |
| (12)                         |   |  | 乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の  | l        | l  | l        |           |
| (13)                         | -                                       |  | 状況 久屋でパラリ、(経験も会す。 ) の少ルなが慢度の体  | -        | -  |          | -         |
| (13)                         |   |  | 金属系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び損傷の状<br>況   | l        | l  | l        |           |
| (14)                         | 1                                       |  | コンクリート系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び  | -        | <del>                                     </del> | -        | -         |
| ,                            |   |  | 損傷の状況  | l        | l  | l        |           |
| (15)                         | 1                                       | 窓サッシ等  | サッシ等の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (16)                         | ]                                       |  | はめ殺し窓のガラスの固定の状況  |          |  |          |           |
| (17)                         | 1                                       | 外壁に緊結された広告板、空調   | 機器本体の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (18)                         | _                                       | 室外機等   | 支持部分等の劣化及び損傷の状況  |          |  |          |           |
| 3                            |   | び屋根  | R. L. T. D. (N. P. C.) PRODUCE TO A STATE OF THE PARTY OF |          |  |          | _         |
| (1)                          | 屋上面                                     |  | 屋上面の劣化及び損傷の状況  | ├        | ├  | $\vdash$ | <b>—</b>  |
| (2)<br>(3)                   | ■正//                                    | 間り(屋上面を除く。)  | パラベットの立上り面の劣化及び損傷の状況<br>笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況  | -        | -  |          | ├         |
| (4)                          | 1                                       |  | 金属笠木の劣化及び損傷の状況   | -        | <del></del>                                      | -        | -         |
| (5)                          | 1                                       |  | #水溝(ドレーンを含む。)の劣化及び損傷の状況  | -        | _  |          | -         |
| (6)                          | 展根                                      | (屋上面を除く。)  | 屋根の防火対策の状況   | -        | <del>                                     </del> |          | -         |
| (7)                          | 1                                       | American policy and h  | 屋根の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |
| (8)                          | 機器)                                     | なび工作物(冷却等設備、広告塔  | 機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況  |          |  |          |           |
| (9)                          | 等)                                      | and the second s | 支持部分等の劣化及び損傷の状況  |          |  |          |           |
| 4                            | 建築                                      | の内部  |  |          |  |          |           |
| (1)                          | 防                                       | 令第112条第11項から第13項まで   | でに規定する区画の状況  |          |  |          |           |
| (2)                          | 火区                                      |  | 5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画  |          |  |          |           |
| /o.                          | 区                                       | の状況  | 5 - 40°C   | <b>—</b> | -  | $\vdash$ | _         |
| (3)                          | 画                                       | 今第112条第18項に規定する区面<br>歴史展示の4 国際   |  | <b>—</b> | -  |          | _         |
| (4)                          |   | 防火区画の外周部   | 令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項   | l        | 1  |          |           |
| (5)                          | 1                                       |  | に規定する防火設備の処置の状況<br>令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項  | -        | _  |          | _         |
| (0)                          |   |  | 〒第112米第10頃に規定する外壁等及び同米第17頃<br>  に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況  | l        |  |          |           |
| (6)                          | 壁                                       | 躯体等  | 木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷  |          |  | -        |           |
|                              | の                                       |  | の状況  | <u></u>  |  |          | L         |
| (7)                          | 室                                       |  | 組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損  |          |  |          |           |
|                              | 室内に                                     |  | 傷の状況   |          |  |          |           |
| (8)                          | 뜵                                       |  | 補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部  |          |  |          |           |
|                              | 雷                                       |  | 分の躯体の劣化及び損傷の状況   |          | -  | $\vdash$ | _         |
|                              | 面する部分                                   |  | 鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損  | l        |  |          |           |
| (9)                          | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |  | 傷の状況<br>鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の  | $\vdash$ | _  |          |           |
| (9)                          |   |  | 鉄筋コンクリート造及い鉄育鉄筋コンクリート造の<br>  壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況   | l        |  |          |           |
|                              | 分                                       |  |  |          | _  | _        |           |
| (10)                         | 分                                       | 耐火構造の壁又は御耐火構造の   | 進耐火性能等の確保の状況   |          |  |          |           |
| (10)                         | 分                                       | 耐火構造の壁又は準耐火構造の<br>壁(防火区画を構成する壁等に   | 準耐火性能等の確保の状況<br>部材の劣化及び損傷の状況   | _        | _  |          |           |
| (10)<br>(11)<br>(12)<br>(13) | 分                                       |  | 準耐火性能等の確保の状況<br>部材の劣化及び損傷の状況<br>鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況  |          |  |          |           |
| (10)<br>(11)<br>(12)         | 分                                       | 壁(防火区画を構成する壁等に   | 部材の劣化及び損傷の状況   |          |  |          |           |

| (15)   |                             | 令第114条に規定する界壁、間  |  |   |          |               |
|--|-----------------------------|--|--|---|----------|---------------|
| (16)   |                             | 仕切壁及び隔壁<br>  令第128条の5各項に規定する   | 況<br>  室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況  |   |          |               |
|  |                             | 建築物の壁の室内に面する部分   |  |   |          | _             |
| (17)   | 床                           | 躯体等  | 木造の床躯体の劣化及び損傷の状況   |   |          | ┝             |
| (18)   |                             |  | 鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況  |   | -        | -             |
| (19)   |                             |  | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の<br>床躯体の劣化及び損傷の状況   |   | l        | l             |
| (20)   |                             | 耐火構造の床又は準耐火構造の   |  |   |          | -             |
| (21)   |                             | 床(防火区画を構成する床の脚   |  |   |          | -             |
| (22)   |                             | శ్.)   | 給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の  |   |          | -             |
|  |                             |  | 充填等の処理の状況  |   |          |               |
| (23)   | 天                           | 令第128条の 5 各項に規定する  |  |   |          |               |
| (24)   | 并                           | 建築物の天井の室内に面する部   | 室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況   |   | l        | l             |
| (25)   |                             | 特定天井   | 特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況   |   | -        | -             |
| (26)   | 防水料                         | 文備(防火扉、防火シャッターそ  |  | - | -        | -             |
| (27)   | の他は                         | これらに類するものに限る。)又  | 居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通  |   |          | -             |
|  | は戸                          |  | 路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の  |   | l        | l             |
| (20)   |                             |  | 設置の状況  |   |          | Ь             |
| (28)   |                             |  | 昭和48年建設省告示第2563号第1第1号ロに規定  |   | l        | l             |
| (29)   |                             |  | する基準への適合の状況<br>防火扉又は戸の開放方向   |   | _        | -             |
| (30)   |                             |  | 常開防火設備等の本体と枠の劣化及び損傷の状況   |   | -        | -             |
| (31)   |                             |  | 常開防火設備等の閉鎖又は作動の状況  |   |          | -             |
| (32)   |                             |  | 常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の  |   |          | $\overline{}$ |
|  |                             |  | 放置の状況  |   |          | _             |
| (33)   |                             |  | 常閉防火扉等の固定の状況   |   |          |               |
|  | 照明                          | B具、 <del>懸重</del> 物等   | 照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況  |   |          |               |
| (35)   |                             |  | 防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂  |   |          |               |
| (36)   | 警報書                         | 0/曲  | ■ 物等の状況<br>■ 警報設備の設置の状況  |   | $\vdash$ | -             |
| (37)   | B #K#                       | X IM   | 警報設備の劣化及び損傷の状況   |   | -        | -             |
|  | 居室/                         | の採光及び換気  | 春秋歌踊の男花及り質勝の状況<br>  探光のための開口部の面積の確保の状況   |   |          | -             |
| (39)   | <u>пж</u> .                 | - MANUAL O BEAN  | 探光の妨げとなる物品の放置の状況   |   |          | -             |
| (40)   |                             |  | 換気のための開口部の面積の確保の状況   |   |          |               |
| (41)   |                             |  | 換気設備の設置の状況   |   |          |               |
| (42)   |                             |  | 換気設備の作動の状況   |   |          |               |
| (43)   |                             |  | 換気の妨げとなる物品の放置の状況   |   |          | lacksquare    |
| (44)   | 石綿等                         | <b>亭を添加した建築材料</b>  | 吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する<br>石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセント  |   | l        | l             |
|  |                             |  |  |   |          |               |
|  |                             |  | - 一句冊の重重が自然建築材料の重重のU.1ハーセント  |   | l        | ı             |
|  |                             |  | - ┃を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の   |   |          |               |
| (45)   |                             |  | 石榴の量量が当該定案材料の量量の0.1パーセント<br>を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況   |   |          |               |
| (45)<br>(46)   |                             |  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況   |   |          |               |
| (46)   |                             |  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況  |   |          |               |
| (46)   |                             |  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及   |   |          |               |
| (46)<br>(47)   | -                           |  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5  |                             | <b>後等</b><br>効素質の頂に担富する通路  | を粗えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)   | 令第1                         | <b>記号</b><br>20条第2項に規定する通路   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)  |                             |  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>幅質の確保の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)   | 令第1                         | 20条第2項に規定する通路  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)   | 令第1<br>廊下<br>出入1            | 20条第2項に規定する通路  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)  | 令第1<br>原下<br>出入:<br>屋上:     | 20条第2項に規定する通路<br>コ   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛載防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽質の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>出入口の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>量上広場の確保の状況<br>最上広場の確保の状況   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)   | 令第1<br>原下<br>出入:<br>屋上:     | 20条第2項に規定する通路  | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽質の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>出入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地上の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況<br>を表現した場の確保の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)  | 令第1<br>原下<br>出入:<br>屋上:     | 20条第2項に規定する通路<br>コ   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽真の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>出入口の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>是上広場の確保の状況<br>運上広場の確保の状況<br>運生上広場の確保の状況<br>運生を対象がより、   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>5<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)   | 令第1<br>原下<br>出入:<br>屋上:     | 20条第2項に規定する通路<br>コ   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>報見の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の被置の状況<br>屋上広場の確保の状況<br>産難上有効なゾルコニーの確保の状況<br>郵鑑している。<br>避難上有効なゾルコニーの確保の状況<br>等難上有効なゾルコニーの確保の状況<br>等難上有効なゾルコニーの確保の状況<br>等の劣化及び損傷の状況<br>物品の放置の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路<br>コ<br>広場<br>E-有効なバルコニー   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況。<br>囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽負の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>虚上広場の確保の状況<br>虚上広場の確保の状況<br>避難上有効なバルコニーの確保の状況<br>連載と有効なバルコニーの確保の状況<br>事よの放置の状況<br>がある放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況<br>があるの放置の状況   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)  | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路<br>コ   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>超員の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>助入口の確保の状況<br>量上広場の確保の状況<br>屋上広場の確保の状況<br>運生の強化を受けてある。<br>連難上有効なパルコニーの確保の状況<br>連まの強作を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)  | 令第1<br>原下<br>出入:<br>屋上:     | 20条第2項に規定する通路<br>コ<br>広場<br>E-有効なバルコニー   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路<br>コ<br>広場<br>E-有効なバルコニー   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況。<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>報気の確保の状況。<br>出入口の確保の状況。<br>出入口の確保の状況。<br>出入口の確保の状況。<br>虚上広場の確保の状況。<br>虚上広場の確保の状況。<br>遊離上有効なバルコニーの確保の状況。<br>連維上有効なバルコニーの確保の状況。<br>連維上有効なバルコニーの確保の状況。<br>連維上有効ながルカニー<br>がよの数質の状況。<br>の機能の数質の状況。<br>の機能の数質の状況。<br>の機能の数質の状況。<br>連維を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)  | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路<br>コ<br>広場<br>E-有効なバルコニー   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路<br>コ<br>広場<br>E-有効なバルコニー   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況。<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽負の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>温上広場の確保の状況<br>虚上広場の確保の状況<br>連維上有効なバルコニーの確保の状況<br>連維上有効なバルコニーの確保の状況<br>連維上有効なバルコニーの確保の状況<br>連難器具の操作性の確保の状況<br>地面の設置の状況<br>極度の酸質の状況<br>軽している。<br>をは、<br>をは、<br>をは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、<br>のでは、 |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17)  | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路 コ 広場 E有効なバルコニー  階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>幅員の確保の状況<br>一の、<br>一の、<br>一の、<br>一の、<br>一の、<br>一の、<br>一の、<br>一の、  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(7)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(10)<br>(11)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路  は場と と有効なパルコニー  階段  屋内に設けられた避難階段  屋外に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>幅真の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>虚上広場の確保の状況<br>遅上上方場のなどの状況<br>運動と自分なが必要があるが表現<br>運動を変数を変数を<br>が成していますり等の劣化及び損傷の状況<br>運動との設置の状況<br>通過階級の設置の状況<br>通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>に通過階級の設置の状況<br>を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(4)<br>(6)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路 コ 広場 上有効なバルコニー 階段 屋内に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「坎付け石綿等」という。)の 使用の状況  吹付け石綿等の劣化の状況  除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止  措置の実施の状況  囲い込み文は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及  「一名第120条第2項に規定する通路の確保の状況  「超過の確保の状況  「超過の確保の状況  「出入口の確保の状況  「出入口の確保の状況  「温上広場の確保の状況  「選難上有効なバルコニーの確保の状況  「連難上有効なバルコニーの確保の状況  「連難と有効なバルコニーの確保の状況  「連難器具の操作性の確保の状況  「連難器具の操作性の確保の状況  「超過階級の設置の状況  「超過階級の影響である。  「超過階級の影響である。  「現るの確保の状況  「関数を不可能にの状況  「関数性の確保の状況  「関数性の確保の状況  「対して、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19   | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路  は場と と有効なパルコニー  階段  屋内に設けられた避難階段  屋外に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況  一十一次のでは対し込めによる飛散防止措置の劣化及び  「中国の大力では、一十一次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十一次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十一次のでは、一十一次のでは、一十二次に、一十二次に、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次のでは、一十二次には、一十二次には、一十二次には、一十二次には、一十二   |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(6)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(10)<br>(10)<br>(11)<br>(11)<br>(11)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19) | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路  は場と と有効なパルコニー  階段  屋内に設けられた避難階段  屋外に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の<br>使用の状況<br>吹付け石綿等の劣化の状況<br>除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止<br>措置の実施の状況<br>囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及<br>び<br>令第120条第2項に規定する通路の確保の状況<br>軽真の確保の状況<br>物品の放置の状況<br>地入口の確保の状況<br>地入口の確保の状況<br>屋上広場の確保の状況<br>屋上広場の確保の状況<br>運難上有効ながルコニーの確保の状況<br>運難上有効ながルコニーの確保の状況<br>運難上有効ながルコニーの確保の状況<br>運動をあるが関連の状況<br>通過階級の設置の状況<br>通過関係の設置の状況<br>通過の確保の状況<br>再すりの設置の状況<br>軽良の確保の状況<br>軽良の確保の状況<br>軽良を部の変化及び損傷の状況<br>軽良を部の変化及び損傷の状況<br>を設定の関連の状況<br>関放性の確保の状況<br>関放性の確保の状況<br>関放性の確保の状況<br>同過階級との関節が大区<br>関放性の確保の状況<br>同過階級との間の防火区<br>関放性の確保の状況<br>同時を必要の構造の確保の状況<br>同時を必要の構造の確保の状況<br>同時を必要の体質の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況<br>同時の確保の状況  |   |          |               |
| (46)<br>(47)<br>(5)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(6)<br>(6)<br>(7)<br>(8)<br>(9)<br>(10)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(10)<br>(10)<br>(11)<br>(11)<br>(11)<br>(12)<br>(13)<br>(14)<br>(15)<br>(16)<br>(17)<br>(17)<br>(18)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19)<br>(19) | 令第1<br>麻下<br>出入(<br>屋上)     | 20条第2項に規定する通路  は場と と有効なパルコニー  階段  屋内に設けられた避難階段  屋外に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除ま又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  一   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23)  | 令麻 田 屋選 階段<br>第下 入 上離       | 20条第2項に規定する通路  T   | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  令第120条第2項に規定する通路の確保の状況  超員の確保の状況  地入口の確保の状況  地入口の確保の状況  地入口の確保の状況  虚上広場の確保の状況  虚上広場の確保の状況  虚上広場の確保の状況  遠重計り等の劣化及び損傷の状況  可適階段の設置の状況  極野なが次況  「直適階段の設置の状況  「直適階段の設置の状況  「超野などの状況  「超野などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般では、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (22) (24)  | 令麻 田 屋選 階段<br>第下 入 上離       | 20条第2項に規定する通路  は場と と有効なパルコニー  階段  屋内に設けられた避難階段  屋外に設けられた避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  一   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (22) (23)  | 令 厭 田 屋選 階段 排煙散             | 20条第2項に規定する通路  T   | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  令第120条第2項に規定する通路の確保の状況  超員の確保の状況  地入口の確保の状況  地入口の確保の状況  地入口の確保の状況  虚上広場の確保の状況  虚上広場の確保の状況  虚上広場の確保の状況  遠重計り等の劣化及び損傷の状況  可適階段の設置の状況  極野なが次況  「直適階段の設置の状況  「直適階段の設置の状況  「超野などの状況  「超野などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般では、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般である。 「などのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (6) (6) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (22) (24) (25)   | 令 厭 田 屋選 階段 排煙散             | 20条第2項に規定する通路  T   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  一条第120条第2項に規定する通路の確保の状況 超員の確保の状況 ・  |   |          |               |
| (46) (47) 5 (1) (2) (3) (4) (6) (6) (7) (8) (10) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (17) (18) (19) (21) (22) (22) (23) (24) (25)  | 令麻 田 屋選 階段<br>第下 入 上離       | 20条第2項に規定する通路  (本語 ) 上有効なバルコニー    階段   屋内に設けられた避難階段   屋外に設けられた避難階段   棒別避難階段   特別避難階段   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 開い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及 び  一名第120条第2項に規定する通路の確保の状況 「一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (4) (6) (6) (7) (7) (10) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (19) (22) (23) (24) (25) (26) (26) (28)   | 令 厭 田 屋選 階段 排煙散             | 20条第2項に規定する通路  (本語)  ( | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込みずし込めによる飛散防止措置の劣化及 で 一条第120条第2項に規定する通路の確保の状況 超気の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 現上広場の確保の状況 遅上広場の確保の状況 遅上広場の確保の状況 原産上広場の確保の状況 原理上有効なバルコニーの確保の状況 事すり等面の状況 適適階終の設置の状況 極いたない損傷の状況 可適階終の設置の状況 超員の確保の状況 超目の確保の状況 超目の確保の状況 に適適階終の設置の状況 に適適階終の設置の状況 に対している。 を表している。 を表してい   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (10) (2) (3) (6) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (22) (22) (22) (22) (23) (24) (25) (27) (28) (27) (28) (30)   | 令郎 出屋選 階段 排煙設備等 そ第下 入上離     | 20条第2項に規定する通路  (本語 ) 上有効なバルコニー    階段   屋内に設けられた避難階段   屋外に設けられた避難階段   棒別避難階段   特別避難階段   | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及 で 一条第120条第2項に規定する通路の確保の状況 超員の確保の状況 地入口の確保の状況 地入口の確保の状況 地入口の確保の状況 地入口の確保の状況 を表した場内なが火力 運難上方効なが火力 運難上方効なが火力 運動として、 の機能の状況 を表した場別を表して、 の機能を表して、 の機能を表して、 の状況 を表して、 の機能を表して、 の状況 を表して、 のないで、 の状況 を表して、 のないで、 の状況 を表して、 のないで、   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (10) (2) (3) (6) (6) (7) (8) (9) (10) (12) (13) (14) (15) (16) (16) (17) (18) (19) (22) (23) (23) (25) (26) (28) (29) (28) (29) (31)   | 令郎 田 屋選 階段 排煙設備等 その第下 入 上離  | 20条第2項に規定する通路    本本語   | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況  聞い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及  「経真の確保の状況  「物品の放置で、状況  物品の放置で、状況  物品の放置で、状況  物品の放置で、状況  を主すり等の劣化及び損傷の状況  連難上有効なが、ルコニーの確保の状況  連難上有効なが、ルコニーの確保の状況  連難上有効なが、ルコニーの確保の状況  連難発育の報置の状況  適随障疾の状況  の破異の被して、状況  の破異の破異の状況  ので、ないが、には、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (6) (6) (7) (8) (9) (11) (11) (11) (11) (12) (13) (14) (15) (17) (18) (21) (22) (23) (24) (27) (26) (27) (28) (28) (28) (28) (28) (28) (28) (28  | 令郎 出 屋選 階段 排煙設備等 その他第下 入 上離 | 20条第2項に規定する通路  (本語)  ( | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込みを直接のでは、 一条 第120条第 2 項に規定する通路の確保の状況 関い込みでは対し込めによる飛散防止措置の劣化及 超真の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 の動品の放置の状況 に広場の確保の状況 避上広場の確保の状況 避難上有効なパルコニーの確保の状況 事すり等の劣化及び損傷の状況 動品の放置の状況 の動態でした状況 の動態でした。 の動態でした。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、  |   |          |               |
| (46) (47) (47) (5) (10) (2) (3) (6) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (16) (16) (17) (18) (19) (22) (25) (24) (25) (26) (27) (28) (30) (30) (30) (31) (32) (33)   | 令郎 田屋選 階段 排煙設備等 その他の第下 入 上離 | 20条第2項に規定する通路    本本語   | を超えるもの(以下「外付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込み又は對じ込めによる飛散防止措置の劣化及 で 一条第120条第2項に規定する通路の確保の状況 超員の確保の状況 ・   |   |          |               |
| (46) (47) (5) (1) (2) (3) (4) (6) (6) (7) (8) (9) (11) (11) (11) (11) (12) (13) (14) (15) (17) (18) (21) (22) (23) (24) (27) (26) (27) (28) (28) (28) (28) (28) (28) (28) (28  | 令郎 出 屋選 階段 排煙設備等 その他第下 入 上離 | 20条第2項に規定する通路    本本語   | を超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の 使用の状況 吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは對じ込めによる飛散防止 措置の実施の状況 囲い込みを直接のでは、 一条 第120条第 2 項に規定する通路の確保の状況 関い込みでは対し込めによる飛散防止措置の劣化及 超真の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 出入口の確保の状況 の動品の放置の状況 に広場の確保の状況 避上広場の確保の状況 避難上有効なパルコニーの確保の状況 事すり等の劣化及び損傷の状況 動品の放置の状況 の動態でした状況 の動態でした。 の動態でした。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の動態である。 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、  |   |          |               |

| 番号                           | 調査項目                      |            | 指摘の具体的内容等                    | 改善策の具体             | 的内容等 | 改善(予<br>定)年月                                     |
|------------------------------|---------------------------|------------|------------------------------|--------------------|------|--|
|                              |                           | 検査を要する防    | 火設備の有無                       |                    |      |  |
| 9                            | On white their value with |            |                              |                    |      |  |
| 7                            | 上記以外の調査項目                 |            |                              |                    |      |  |
| (8)<br>(9)                   | 令第138条第 1 刊<br>る煙突        | 現第1号に掲げ    | 煙突本体の劣化及び損傷の<br>付帯金物の劣化及び損傷の |                    |      | <del>                                     </del> |
| (7)                          | 1 ~ L                     |            | 付帯金物の劣化及び損傷の                 | 状况                 |      |  |
| (6)                          | 煙 建築物に設けるが<br>突           | <b>型</b> 突 | 煙突本体及び建築物との接<br>況            | 合部の劣化及び損傷の状        |      |  |
| (4)<br>(5)                   | 遊響設備                      |            | 上部構造の可動の状況<br>遊雷針、遊雷導線等の劣化   | 及び損傷の状況            |      | $\vdash$   |
| ,-,                          | な 免震構造建築物の<br>構 震装置<br>造  | 7光展層及び光    | 態にある場合に限る。)                  | <b>伙仇 兄晨袭直冲可挽从</b> |      | $\vdash$   |
| ( <u>2</u> )<br>( <u>3</u> ) | 殊 等                       |            | 膜張力及びケーブル張力の:                | 状況                 | =    |  |
| (1)                          | その他<br>  等特   膜構造建築物の!    | 草体. 敢付部材   | 膜体及び取付部材の劣化及                 | び損傷の状況             |      |  |
| (40)                         | 1                         |            | 照明の妨げとなる物品の放                 |                    |      |  |
| (38)                         | 非常用の照明装置                  | it.        | 非常用の照明装置の設置の<br>非常用の照明装置の作動の | 状况<br>状况           | _    | $\vdash$   |
| (37)                         |                           |            | 非常用エレベーターの作動                 |                    |      |  |
|                              |                           |            | 物品の放置の状況                     |                    |      |  |

#### (注意)

- この書類は、特殊建築物等ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入 して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の2様式第一面3 欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄まで を取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、別表第1(い)欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第1(い)欄に掲げる調査項目について(は)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の 規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 7「上記以外の調査項目」欄は、第2の規定により特定行政庁が調査項目を追加したとき に、特定行政庁が追加した調査項目を追加し、⑤から⑧に準じて調査結果等を記入してくだ さい。なお、これらの項目がない場合は、7は削除して構いません。
- ① 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
- ② 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ③ 配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してくださ
- ④ 要是正とされた調査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分 を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。

# 別記第二号 (A4)

## **調査結果表** (小規模民間事務所等)

| 当技術本に   |          | 氏 名 | 調査者番号 |
|---------|----------|-----|-------|
| 二0%明日!~ | 代表となる調査者 |     |       |
| 大学した例   | その他の調本者  |     |       |
| 宣台      | その他の調査者  |     |       |

|       |                             |  | <u> </u>    | 調査結    | '果  | 担当     |
|-------|-----------------------------|--|-------------|--------|-----|--------|
| 番号    |                             | 調査項目                                     | 指           | 摘 要是正  |     | 調査者    |
|       |                             |  | な           |        | 既、存 | 番号     |
| _     |                             |  |             | -      | 不適格 |        |
| 1     | 建築物の内部                      |  |             |        |     |        |
| (1)   | 竪 竪穴区画の状況                   |  | Andread and |        |     |        |
| (2)   | 穴   竪穴区画の外周部                | 令第112条第16項に規定する外壁                        |             |        | 1   |        |
|       | 区                           | 同条第17項に規定する防火設備                          | の処直         |        | 1   |        |
| (3)   | <b> </b>                    | <u>の状況</u><br>  令第112条第16項に規定する外壁        | ACC TL 7 P  |        | +   |        |
| (3)   |                             | 〒第112米第10頃に規定する防火設備<br>  同条第17項に規定する防火設備 |             |        |     |        |
|       |                             | 及び損傷の状況                                  | 42 33 IL    |        |     |        |
| (4)   | 薄耐火構造の壁 (竪穴                 | 準耐火性能の確保の状況                              |             | 1      |     |        |
| (5)   | 区画を構成する壁に限                  | 部材の劣化及び損傷の状況                             |             |        |     |        |
| (6)   | る。)                         | 鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の                          | 状況          |        |     |        |
| (7)   | 1                           | 給水管、配電管その他の管又は風                          | 道の区         |        |     |        |
|       |                             | 画貫通部の充填等の処理の状況                           |             |        |     |        |
| (8)   | 準耐火構造の床 (竪穴                 | 準耐火性能の確保の状況                              |             |        |     |        |
| (9)   | 区画を構成する床に限                  | 部材の劣化及び損傷の状況                             |             |        |     |        |
| (10)  | る。)                         | 給水管、配電管その他の管又は風                          | 道の区         |        |     |        |
| (4.5) | Otal 40.8th / Franchistania | 画貫通部の充填等の処理の状況                           | al Is See   |        |     |        |
| (11)  | 防火設備(竪穴区画を                  | 区画に対応した防火設備の設置の                          | 状况          |        |     |        |
| (12)  | 構成する防火設備に限                  | 居室から地上へ通じる主たる廊下                          |             |        |     |        |
|       | る。)                         | その他の通路に設置された防火設<br>  はスイクト軍の数置の光辺        | 福にお         |        |     |        |
| (19)  |                             | けるくぐり戸の設置の状況<br>昭和49年建設公共元第9509 早第       | 1 等 1       | _      |     |        |
| (13)  |                             | 昭和48年建設省告示第2563号第<br> 号ロに規定する基準への適合の状    |             |        |     |        |
| (14)  | 1                           | 常閉防火設備の本体と枠の劣化及                          |             | -      | +   |        |
| (I-4) |                             | の状況                                      | - UR 184    |        |     |        |
| (15)  |                             | 常閉防火設備の閉鎖又は作動の状                          | 況           |        |     |        |
| (16)  |                             | 常閉防火設備の閉鎖又は作動の障                          | 害とな         |        |     |        |
| 1207  |                             | る物品の放置の状況                                |             |        |     |        |
| (17)  |                             | 常閉防火扉の固定の状況                              |             |        |     |        |
| (18)  | 照明器具、懸垂物等                   | 防火設備の閉鎖の障害となる照明                          | 器具、         |        |     |        |
|       |                             | 懸垂物等の状況                                  |             |        |     |        |
| 2     | 遊難施設                        |  |             |        |     |        |
| (1)   | 令第120条第2項に規                 | 令第120条第2項に規定する通路                         | の確保         |        |     |        |
| 4-5   | 定する通路                       | の状況                                      |             |        |     |        |
| (2)   | 避難上有効なバルコニ                  | 避難上有効なバルコニーの確保の                          | 状況          |        |     |        |
| (3)   | _                           | 手すり等の劣化及び損傷の状況                           |             |        |     |        |
| (4)   |                             | 物品の放置の状況                                 |             |        |     |        |
| (5)   | :## '포 ##: CII.             | <u> 遊難器具の操作性の確保の状況</u>                   |             | _      |     |        |
| (6)   | 直通階段                        | 直通階段の設置の状況                               |             | _      |     |        |
| (7)   |                             | 幅員の確保の状況                                 |             |        |     |        |
| (8)   |                             | 手すりの設置の状況                                |             |        |     |        |
| (9)   |                             | <u>物品の放置の状況</u><br>階段各部の劣化及び損傷の状況        | _           | _      |     |        |
|       | し知りはる機大で見                   | 植衣骨前の为16及い損傷の状况                          |             |        |     |        |
| 3     | 上記以外の調査項目                   |  |             |        | _   |        |
|       |                             |  |             | _      |     |        |
|       |                             |  |             | _      |     |        |
| 2.00  | 1<br>いたがまで                  |  |             |        |     |        |
|       | 也確認事項<br>9条第2項の担定による        | 全本な面示をはた処路の岩壁                            |             |        |     |        |
| 告第Ⅰ   | 2余弟3頃の規定による↑<br>( 階) □無     | <b>検査を要する防火設備の有無</b>                     |             |        |     |        |
|       |                             |  |             |        |     |        |
| 特記    |                             |  |             |        | Та  | 女善 (予  |
| 番号    | 調査項目                        | 指摘の具体的内容等                                | 改善策ℓ        | )具体的内线 |     | とき、年月  |
|       |                             | <del> </del>                             |             |        | ^^  | L/ T/1 |
|       |                             | 1  |             |        |     |        |
|       |                             | 1  |             |        | -   |        |
|       |                             |  |             |        |     |        |
|       |                             |  |             |        |     |        |
|       |                             |  |             |        |     |        |

#### (注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、別表第2(い)欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑤ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第2(い)欄に掲げる調査項目について(は)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。 ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 3「上記以外の調査項目」欄は、第2の規定により特定行政庁が調査項目を追加したときに、特定行政庁が追加した調査項目を追加し、⑤から⑧に準じて調査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、3は削除して構いません。
- ① 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
- ② 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ② 配置図及び各階平面図を別添1の2の様式に従い添付し、指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所 や撮影した写真の位置等を明記してください。
- 毎 要是正とされた調査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。

#### 別添1様式(A3)

|                                     | 調 | <u> </u> | 結 | <u>果</u> | 凶 |                 |                  |
|-------------------------------------|---|----------|---|----------|---|-----------------|------------------|
|                                     |   |          |   |          |   | 番号              | 調査項目             |
|                                     |   |          |   |          |   | 1               | 敷地及び地盤           |
|                                     |   |          |   |          |   | (1)             | 地盤               |
|                                     |   |          |   |          |   | (2)             | 敷地               |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 敷地内の通路           |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 塀等               |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 排壁               |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 建築物の外部           |
|                                     |   |          |   |          |   | (1)から(2)        |                  |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 土台(木造に限る。)       |
|                                     |   |          |   |          |   | (5)から(18)       |                  |
|                                     |   |          |   |          |   | 3               | 屋上及び屋根           |
|                                     |   |          |   |          |   | (1)             | 屋上面の状況           |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 屋上周りの状況(屋上面を除く。) |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 屋根(屋上面を除く。)      |
|                                     |   |          |   |          |   | (8)から(9)        | 機器及び工作物(冷却等設備、等) |
|                                     |   |          |   |          |   | 4               | 建築物の内部           |
|                                     |   |          |   |          |   | (1)から(5)        |                  |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 壁の室内に面する部分       |
|                                     |   |          |   |          |   | <b>(10)から23</b> | 床                |
|                                     |   |          |   |          |   | 関から国            | 天井               |
|                                     |   |          |   |          |   | 2007/5/20       | 防火設備又は戸          |
|                                     |   |          |   |          |   | (30から(8)        | 照明器具、懸垂物等        |
|                                     |   |          |   |          |   | \$67,500        | 警報設備             |
|                                     |   |          |   |          |   | (80カ) ら(43)     | 居室の採光及び換気        |
|                                     |   |          |   |          |   | (40) th (67)    | 石綿等を添加した建築材料     |
|                                     |   |          |   |          |   | 5               | 避難施股等            |
|                                     |   |          |   |          |   | (1)             | 令第120条第2項に規定する通路 |
|                                     |   |          |   |          |   | (2)から(3)        | 康下               |
|                                     |   |          |   |          |   | (4)から(5)        | 出入口              |
|                                     |   |          |   |          |   | (6)             | 屋上広場             |
|                                     |   |          |   |          |   | (7)から00         | 遊難上有効なパルコニー      |
|                                     |   |          |   |          |   | 0.0カット(28)      | 階段               |
|                                     |   |          |   |          |   | 20から29          | 排煙設備等            |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | その他の設備等          |
|                                     |   |          |   |          |   | 6               | その他              |
|                                     |   |          |   |          |   |                 | 特殊な構造等           |
|                                     |   |          |   |          |   | (5)             | 遊雷設備             |
|                                     |   |          |   |          |   | (6) A (6(8)     | 煙突               |
|                                     |   |          |   |          |   | 7               | 上記以外の調査項目        |
|                                     |   |          |   |          |   |                 |                  |
|                                     |   |          |   |          |   |                 |                  |
| 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む) |   |          |   |          |   |                 |                  |

#### 別添第1の2様式 (A3) 調査結果図 番号 調査項目 建築物の内部 1 (1)から(3) 竪穴区画 準耐火構造の壁 (4)から(7) (8)から(10) 準耐火構造の床 (11)から(17) 防火設備 照明器具、懸垂物等 (18)2 避難施設 (1) 令第120条第2項に規定する通路 (2)から(5) 避難上有効なバルコニー (6)から(10) 直通階段 上記以外の調査項目 3

注) 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含

む)や撮影した写真の位置等を明記すること。

### 別添2様式(A4)

#### 関係写真

| 部位   | 番号 | 調査項目 |      | 調査結果 |      |
|------|----|------|------|------|------|
|      |    |      |      | □要是正 | □その他 |
|      |    |      | 特記事項 |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
| 写真貼付 |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    | P真貼付 |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |

| 部位   | 番号 | 調査項目 |      | 調査結果 |      |
|------|----|------|------|------|------|
|      |    |      |      | □要是正 | 口その他 |
|      |    |      | 特記事項 |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
| 写真貼付 |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |
|      |    |      |      |      |      |

#### (注音)

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な 事項を記入して添えてください。
- ③「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対 応したものを記入してください。
- ④「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」の チェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項があ る場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。